

宇宙兄弟

ふたりの兄弟 六太と日々人が、共に宇宙飛行士になって、揃って月に立つという夢を目指す漫画「宇宙兄弟」は2007年より『モーニング』（講談社）にて連載を開始。

幼い頃の夢に30歳を超えてから再挑戦する兄と、そんな兄を信じて支える弟との兄弟愛、そして“宇宙開発”という非日常感あふれる舞台上で展開される、日常的かつ濃厚な人間ドラマが好評を博し、連載が進むほどに人気は広がった。



筑波宇宙センター

そんな「宇宙兄弟」の舞台のひとつが、ここ、**JAXA 筑波宇宙センター**。

作中では施設の一つ一つが忠実に描かれています。本企画展では、「宇宙兄弟」の中で描かれるJAXA 筑波宇宙センターのシーンに焦点をあて、作品とリアルな宇宙開発の現場を重ねてご紹介いたします。

「宇宙兄弟」をより面白く、「JAXA 筑波宇宙センター」をより身近に感じていただくための企画展です。

©Chuya Koyama/Kodansha



なんば むった
南波 六太

宇宙飛行士・南波日々人の兄。
弟の後を追う形で、2025年のJAXA宇宙飛行士選抜試験を受験。見事合格し、約1年半の研修を経て、NASA第23期宇宙飛行士として認定された。性格はネガティブ思考。しかし元技術者としてのスキルや物の考え方、何より周りの人間を巻き込む熱意があり、人望が厚い。本人曰く「シャンプーの泡立ちが他の人よりちょっと良い」髪型がトレードマーク。

MUTTA NAMBA

視聴覚室

広報・情報棟にある視聴覚室では、筑波宇宙センターの施設や取り組みについての紹介動画をご覧いただいたり、ロケット打上げ音響体験(不定期開催)に参加することができます。
【注意】見学ツアーにお申し込みいただいた参加者のみ入室ができます。



▲作中シーン

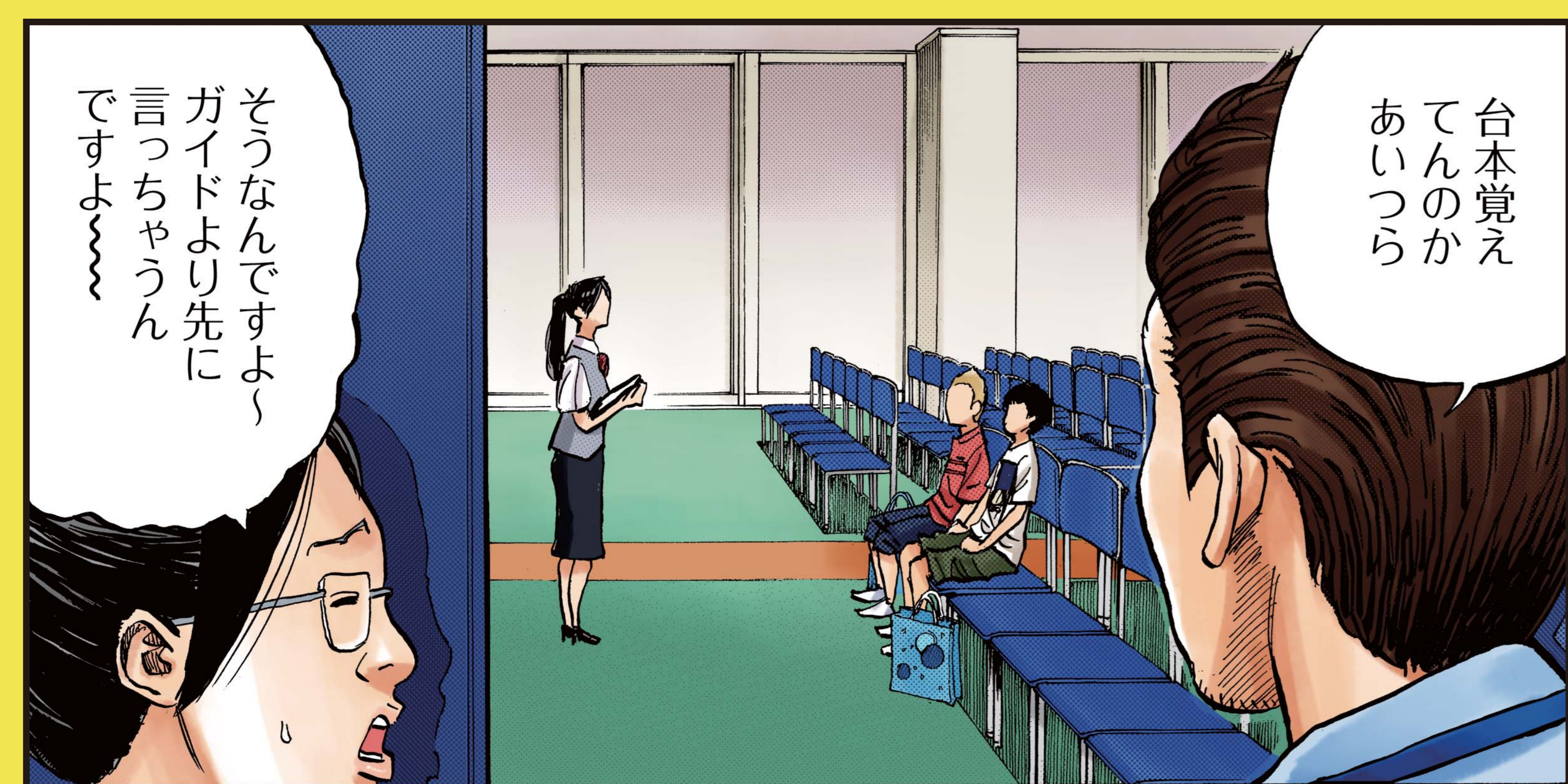
▲シーンを再現

現在は宇宙兄弟効果もあり、多くの方々にご参加いただいております！

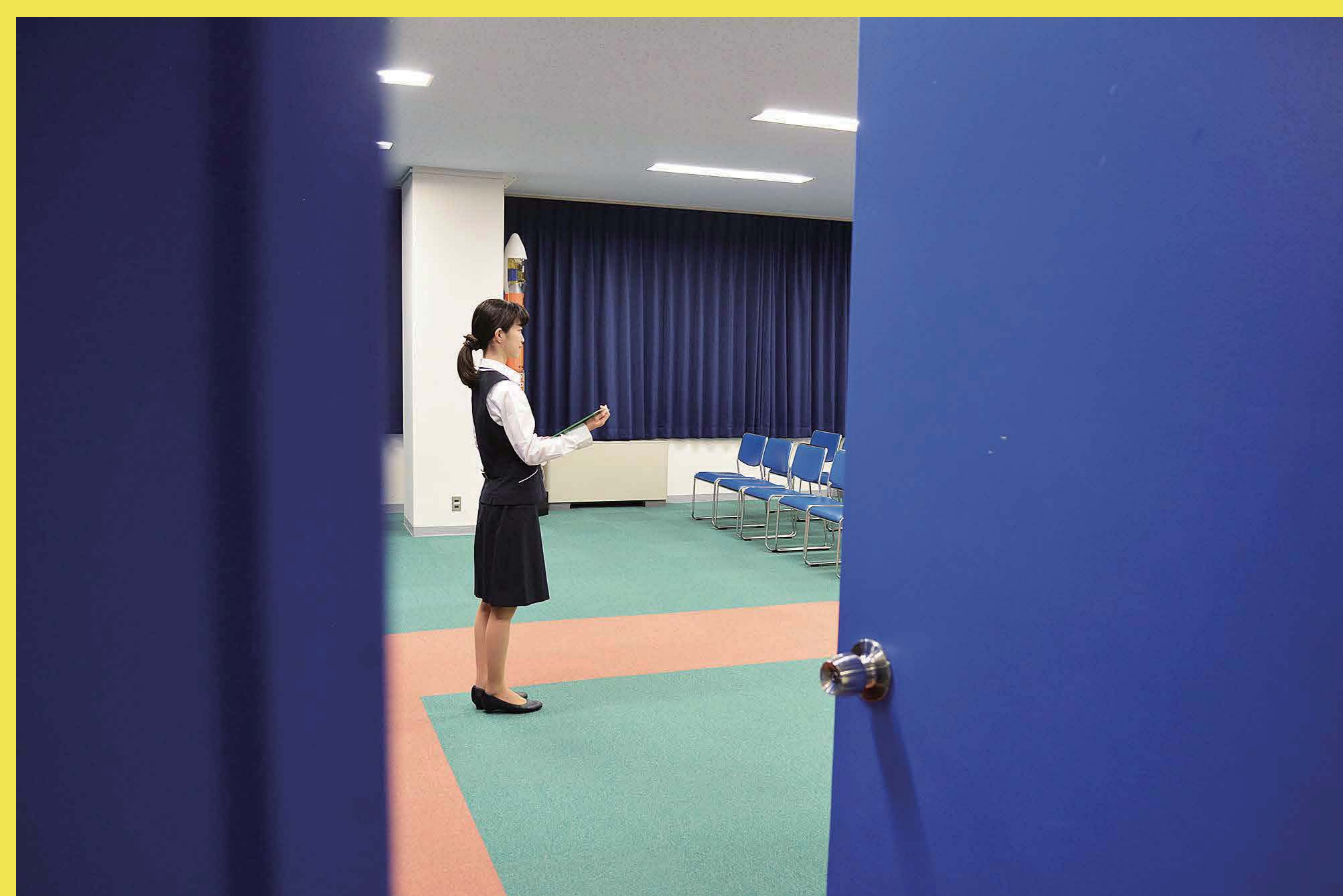


毎日大盛況デス！

見学ツアー詳細 http://fanfun.jaxa.jp/visit/tsukuba/tour.html#visit_tour



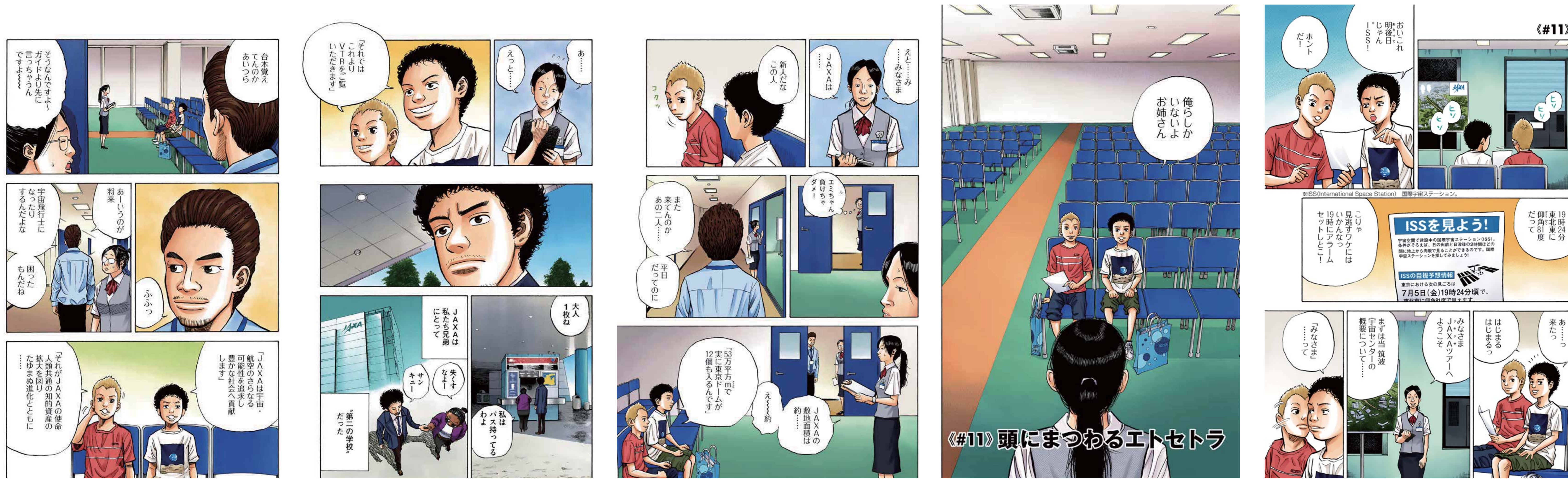
▲作中シーン



▲シーンを再現

筑波宇宙センターに通い詰めていた幼いころの南波兄弟は、もはやガイドの説明内容を丸暗記。

ガイドの説明を覚えてしまうくらいセンターに通い詰めていただけると、我々JAXA職員も大変うれしいです。みなさんのご来場をお待ちしております！



『宇宙兄弟』第1巻《#11》頭にまつわるエトセトラ より

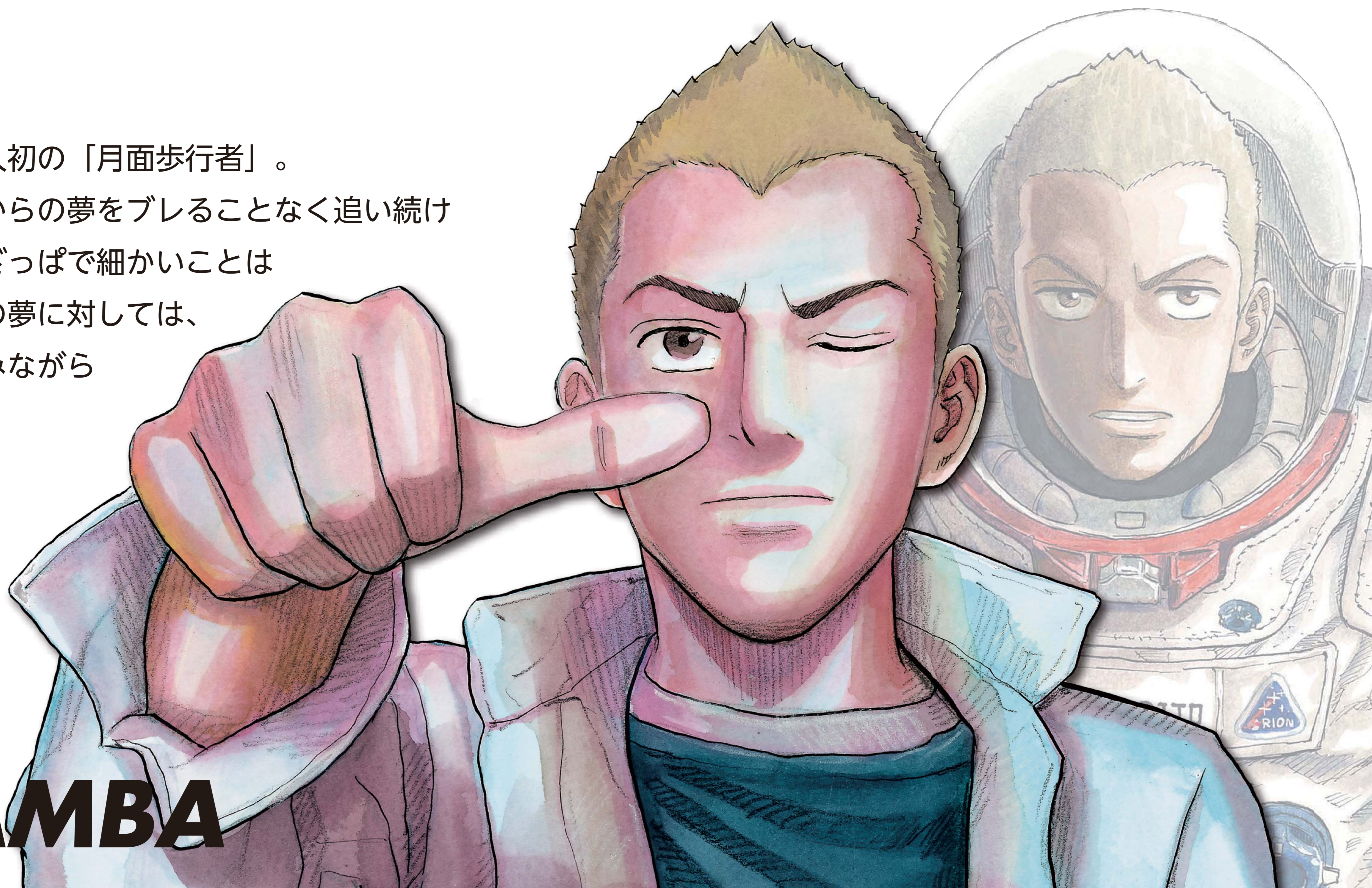
右から左へお読みください

©Chuya Koyama/Kodansha

南波 日々人

宇宙飛行士・南波六太の弟。日本人初の「月面歩行者」。
宇宙飛行士になるという幼いころからの夢をブレることなく追いつけた信念の人だ。性格は明るくおおざっぱで細かいことはほとんど気にしない。しかし自分の夢に対しては、とことんストイックに、かつ楽しみながら努力を重ねることができるタイプ。
周囲からの評価は「ネジが一本抜けている」「地上にいる時でも、ハートはゼロ・Gみたいな奴」。

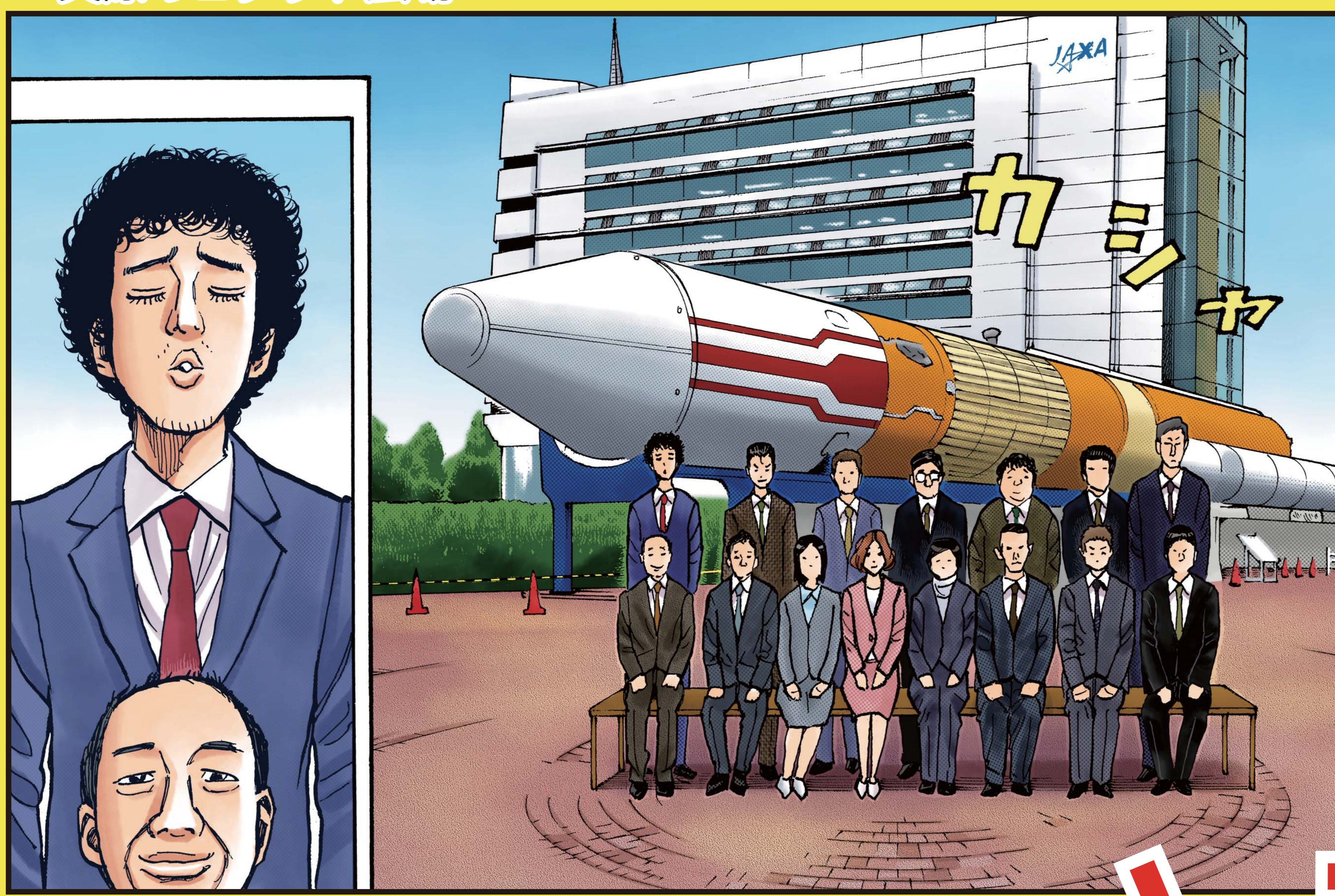
HIBITO NAMBA



ロケット広場



▲実際のロケット広場



▲作中シーン

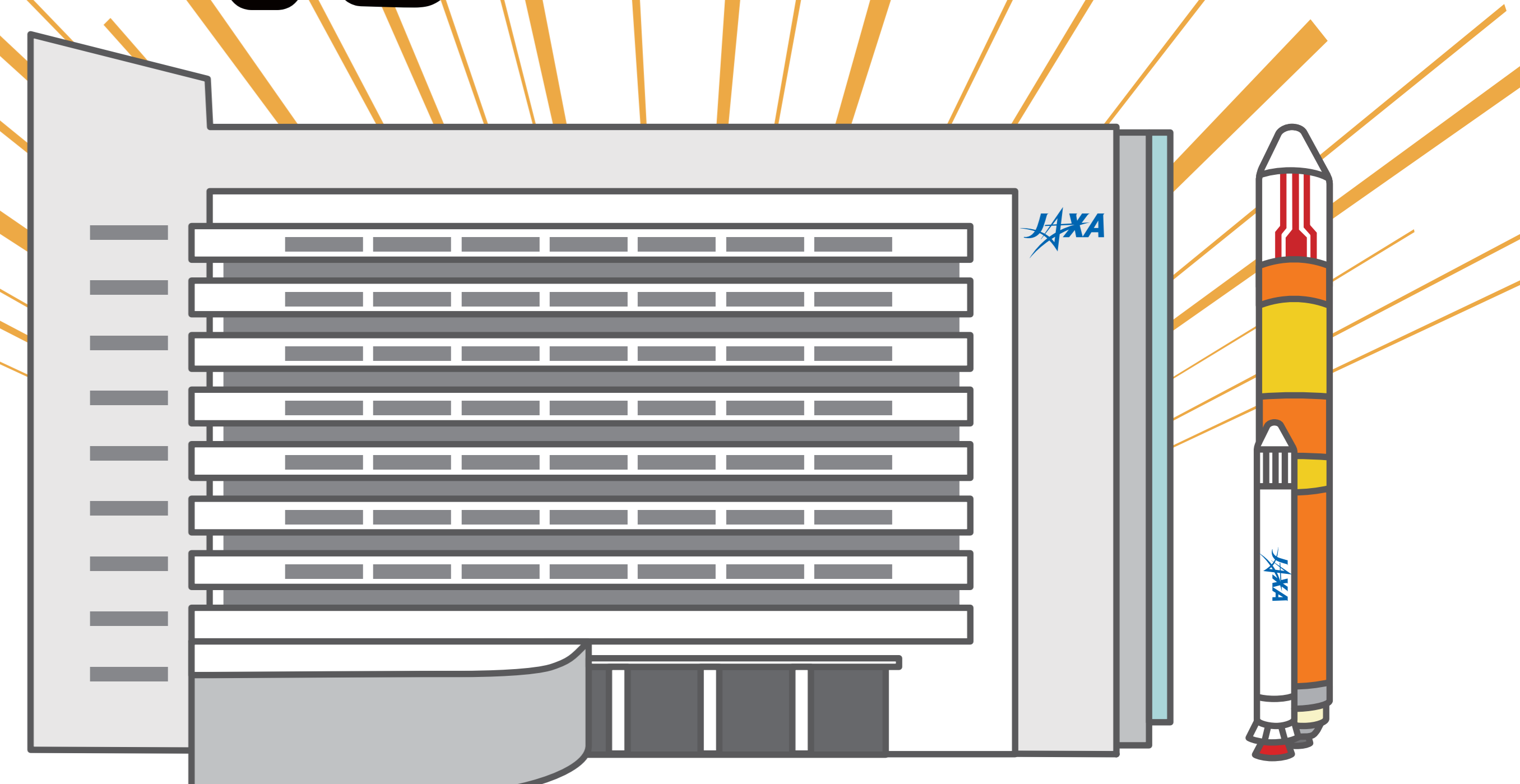
宇宙飛行士選抜の二次試験後に、六太が同じ試験を受けた被験者たちと集合写真を撮った場所が、ロケット広場です。

ロケット広場の地面には円状の部分があり、これは「ここに立つとロケット全体と総合開発推進棟がきれいにカメラにおさまる」目印になっています。

筑波宇宙センターにいらっしゃる多くの方が記念撮影されるこの「ロケット広場」。

ここに横たわるロケットは、全長50mのH-IIロケットです。日本で初めての実機の展示で、このロケットを起こすと、奥に見える総合開発推進棟と同じくらいの高さになります。

約50m!

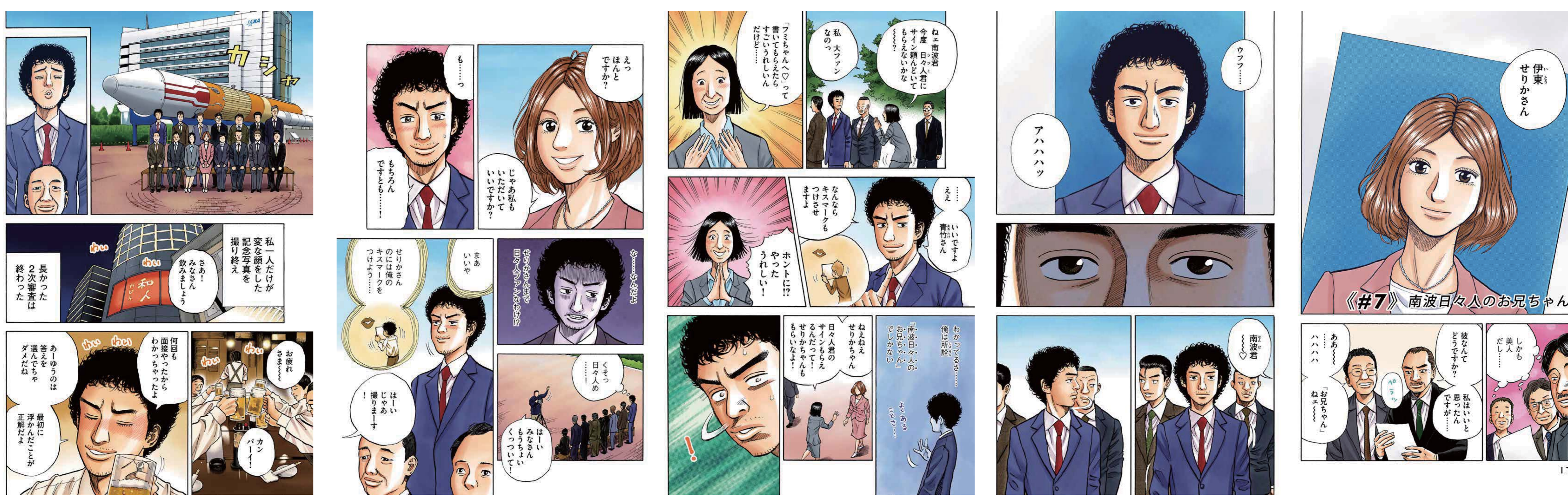


実際に撮ると...



▲シーンを再現

驚きのシンクロ率ッ!



『宇宙兄弟』第1巻《#7》南波日々人のお兄ちゃん より

右から左へお読みください

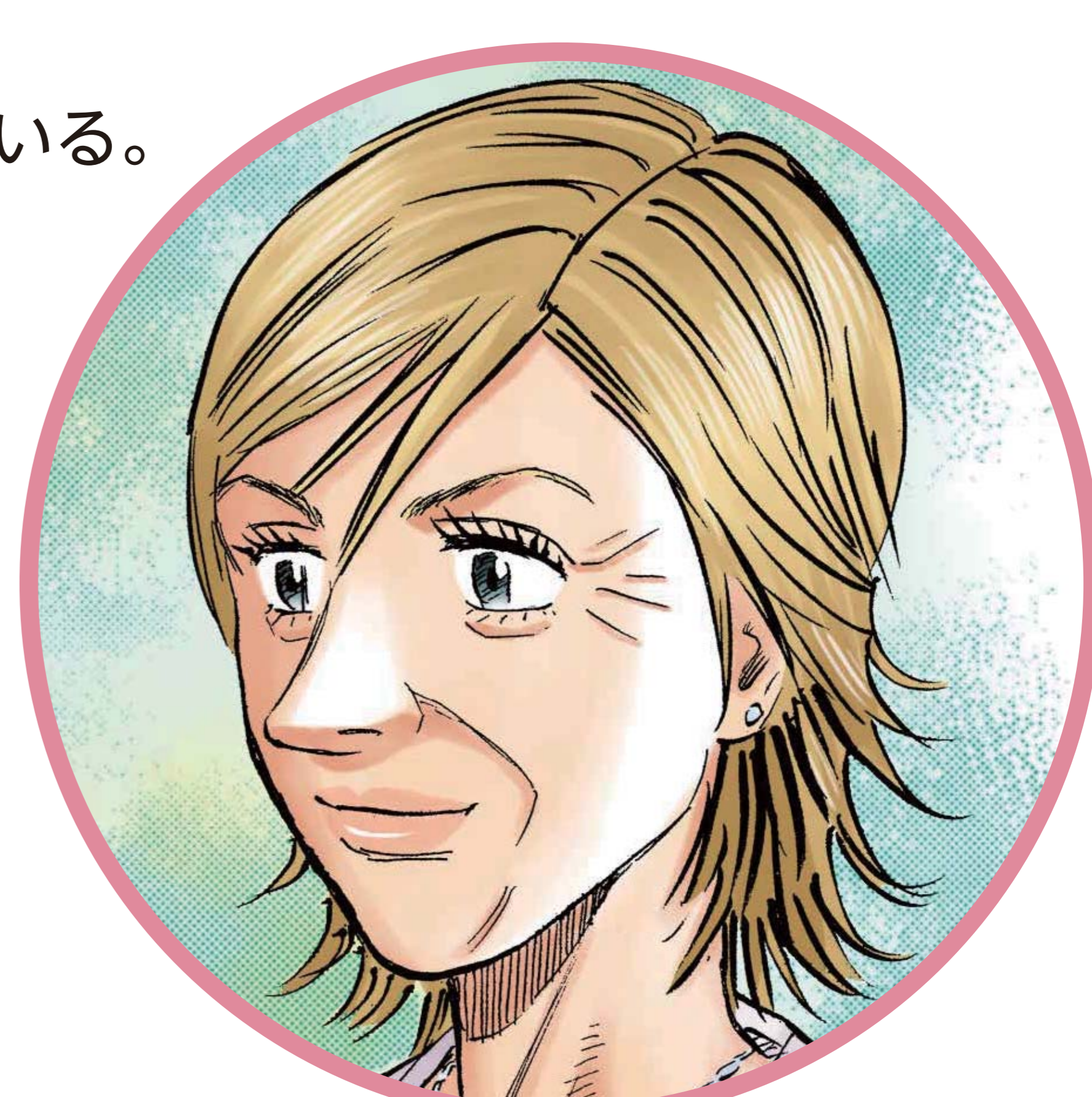
©Chuya Koyama/Kodansha

伊東 せりか

六太と同期の JAXA 所属宇宙飛行士。元医師。
小学生の時、父の実験中の顕微鏡をのぞかせてもらった際に細胞がまるで宇宙のように見え、父も憧れた宇宙への夢を抱き始める。数年後父が ALS を発症、医者になることを決意。
父を苦しめた ALS をこの世から無くしてしまいたいと強く思い、無重力環境で ALS の薬の為の研究ができる環境がある ISS 行きを希望し宇宙飛行士に合格。
医者、宇宙飛行士という2つの大きな目標を叶え、歩み続けている。

金子 シャロン

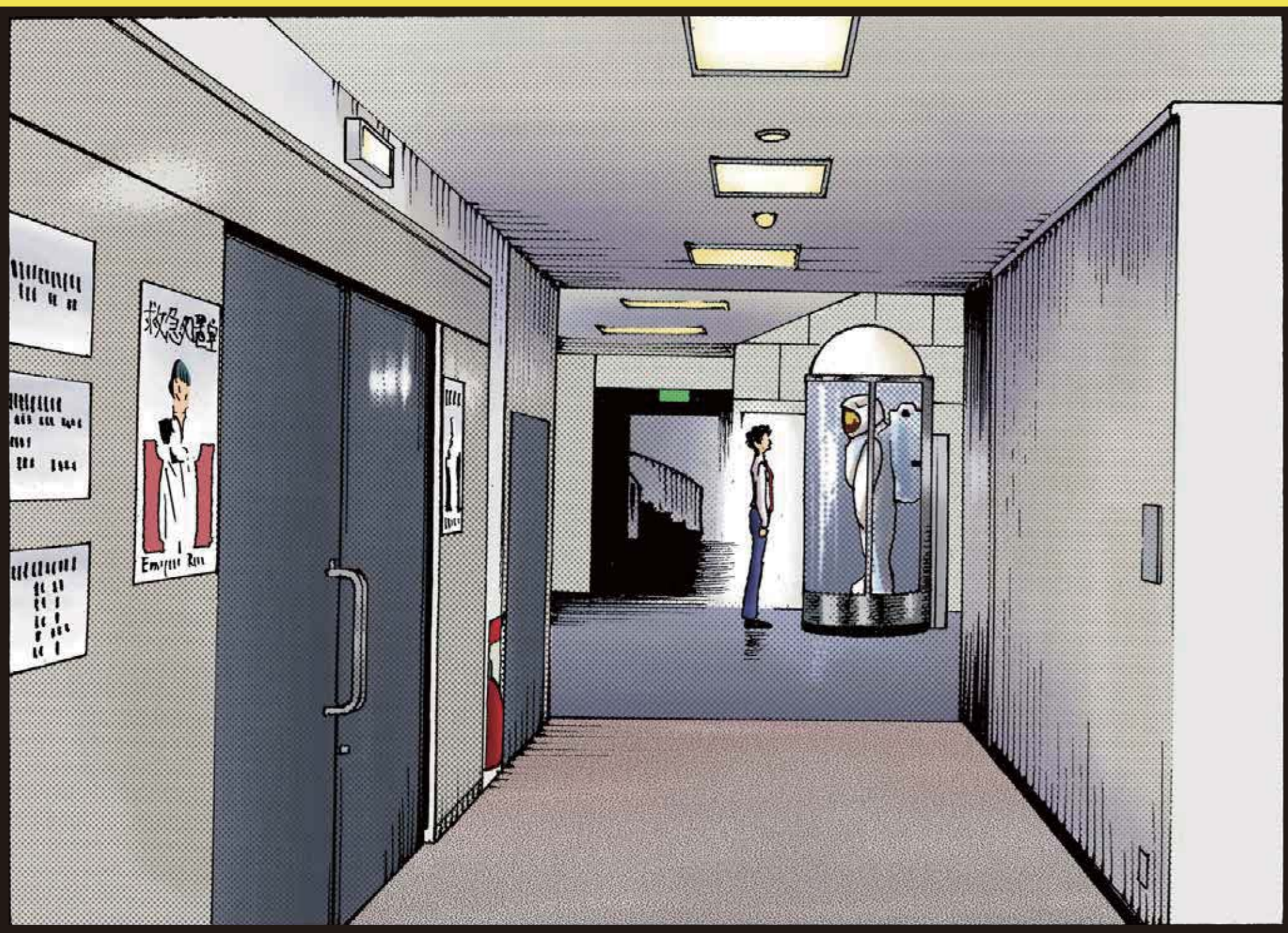
六太と日々人にとって母のような存在で、宇宙飛行士になるために2人に英語などを教えてた。
六太と日々人の活躍を心から喜び応援、2人の記事をスクラップしている。
ピアノを弾くことが大好きで兄弟ともよくセッションした。
ALS の病に冒されるも、日々を前向きに懸命に一つ一つに向き合い、常に笑顔を絶やさない。



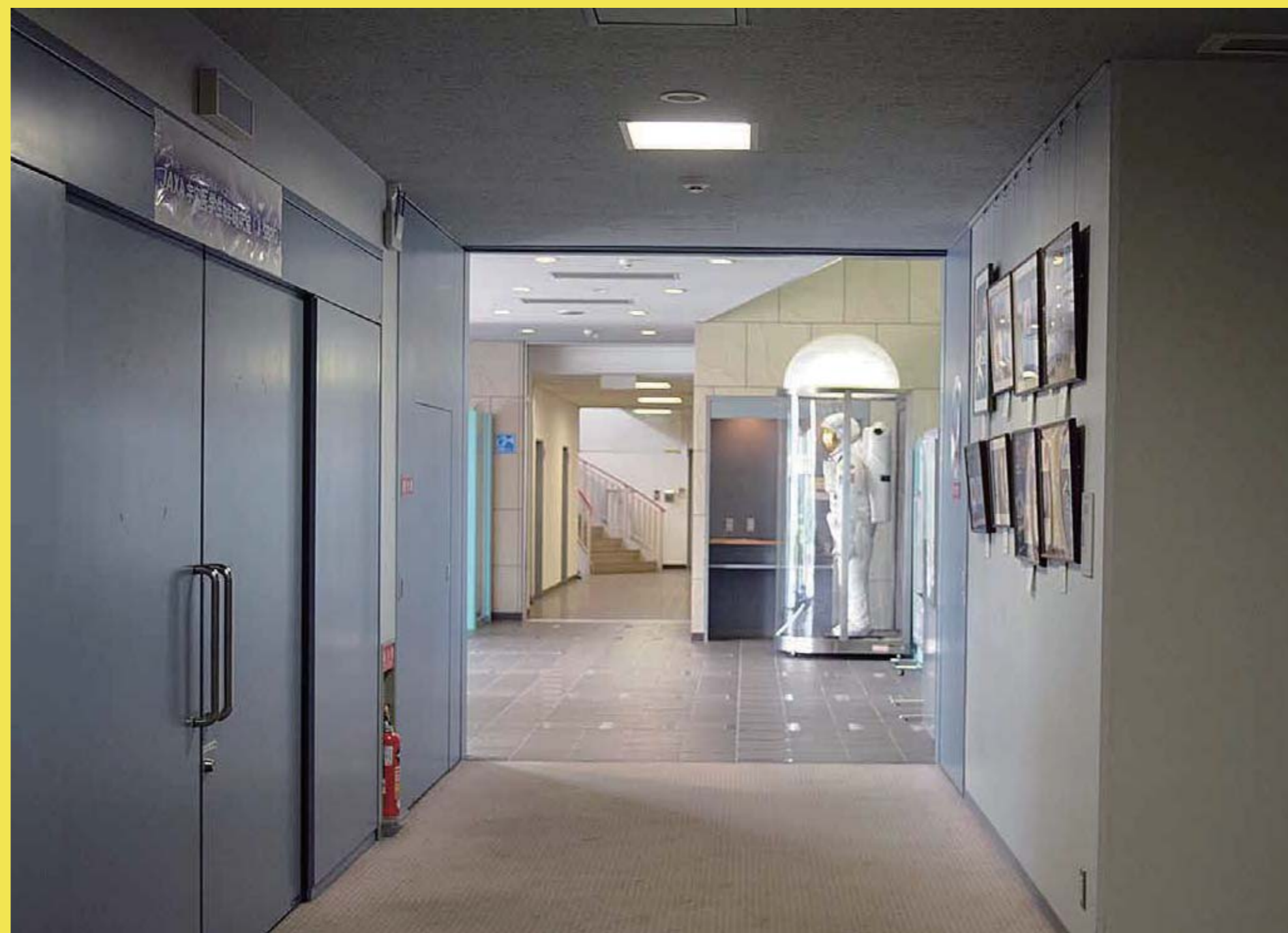
宇宙飛行士養成棟 ①

国際宇宙ステーション（ISS）では、宇宙ステーション計画に参加する各国の宇宙飛行士が3～6ヶ月の長期間宇宙に滞在し、様々な分野の実験・観測ミッションを行うとともに、ISSの運用にも携わっています。

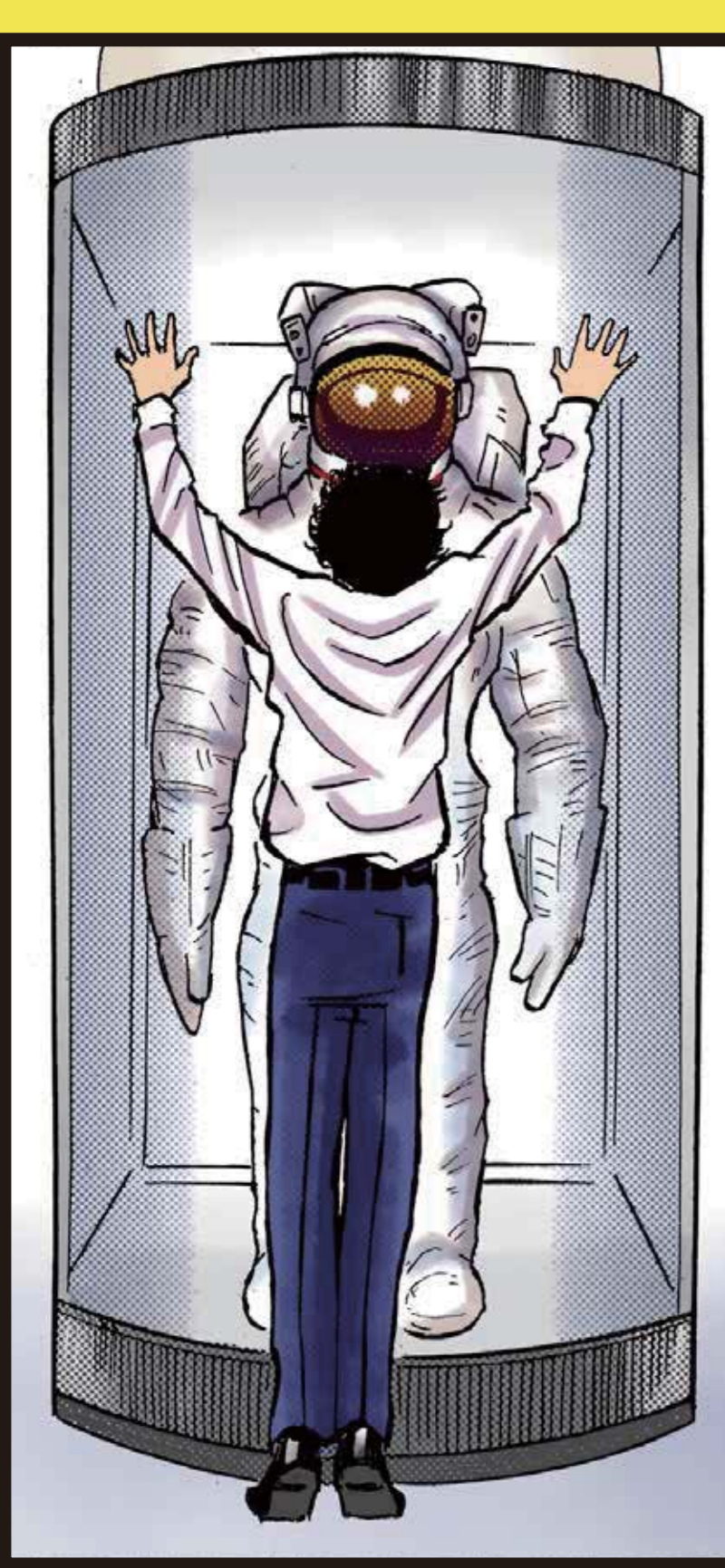
JAXA宇宙飛行士のホームグラウンドとなる宇宙飛行士養成棟では、宇宙飛行士の選抜から養成訓練、健康管理、そして宇宙での長期滞在のための宇宙医学研究も行われています。



宇宙飛行士養成棟廊下もロビーも実物とそっくり！



実際はかなり小さく映ります…



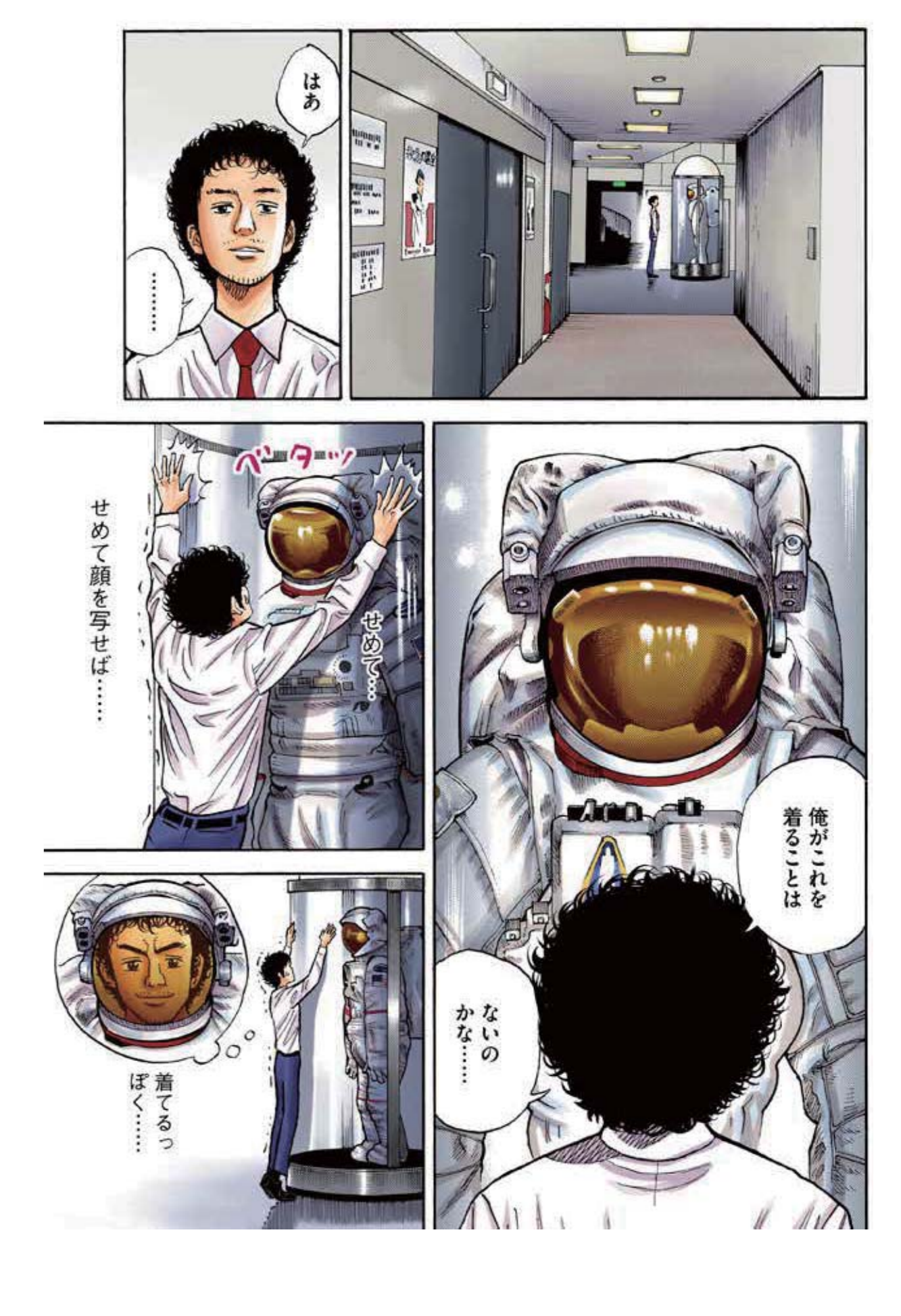
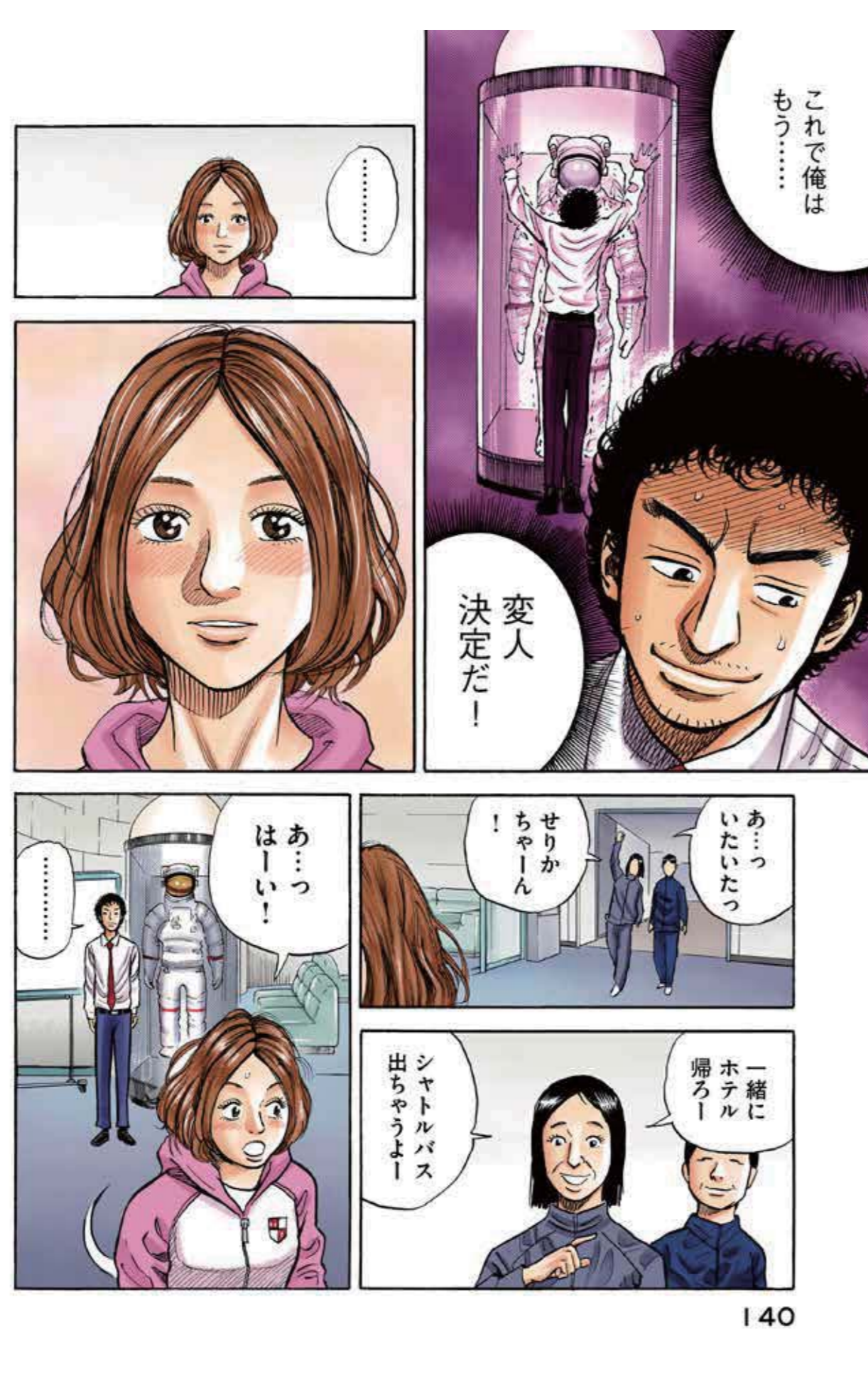
完璧に再現できます！



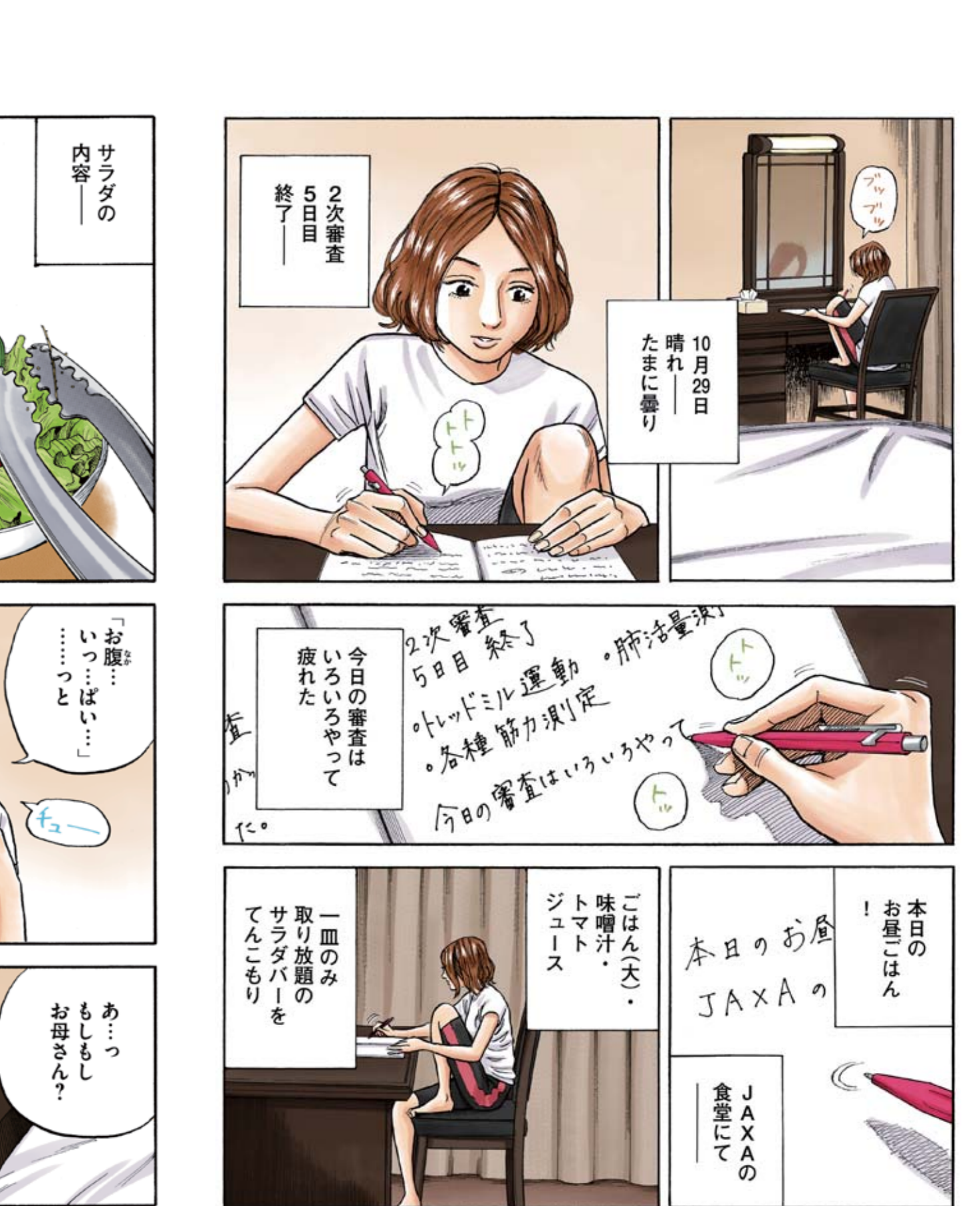
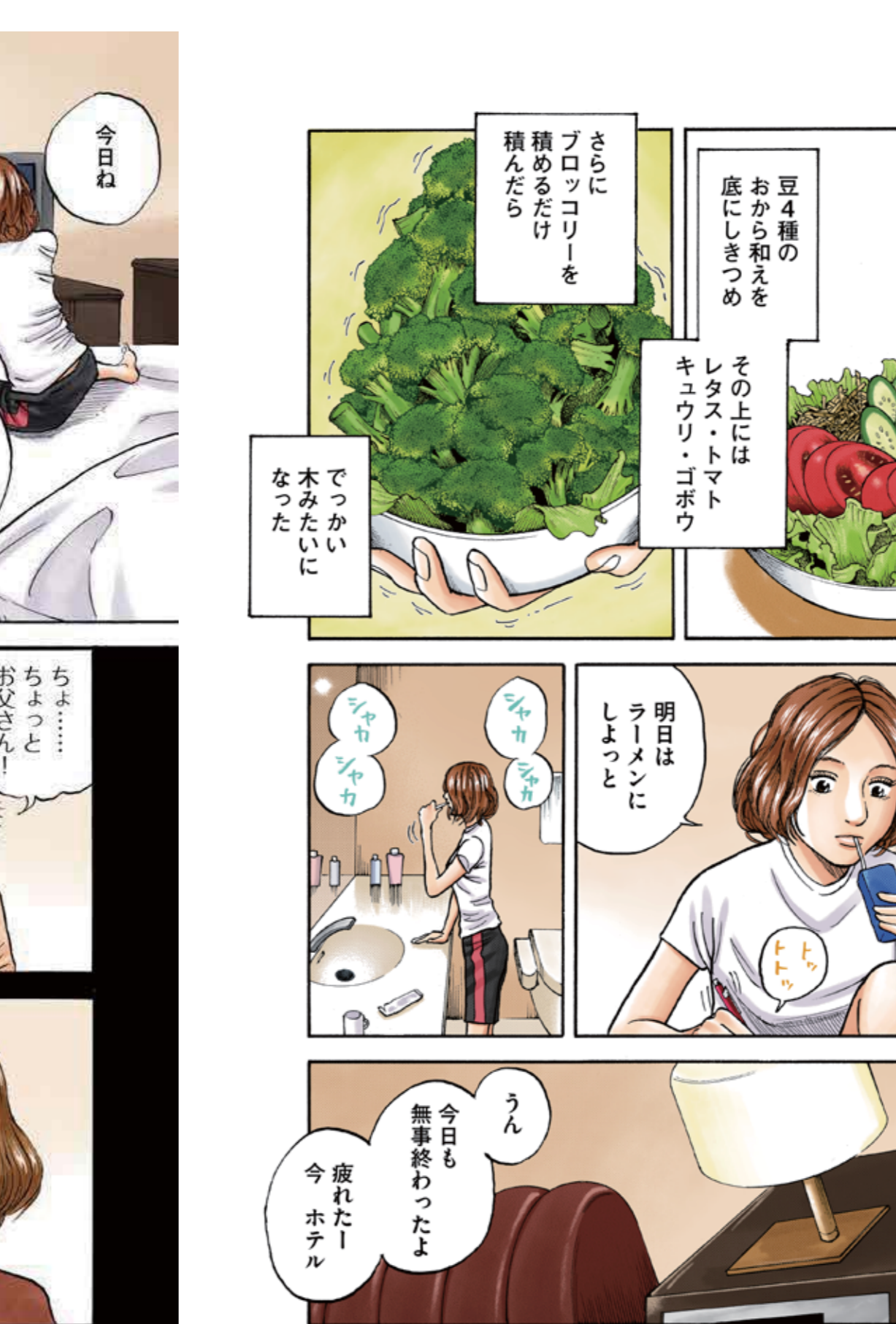
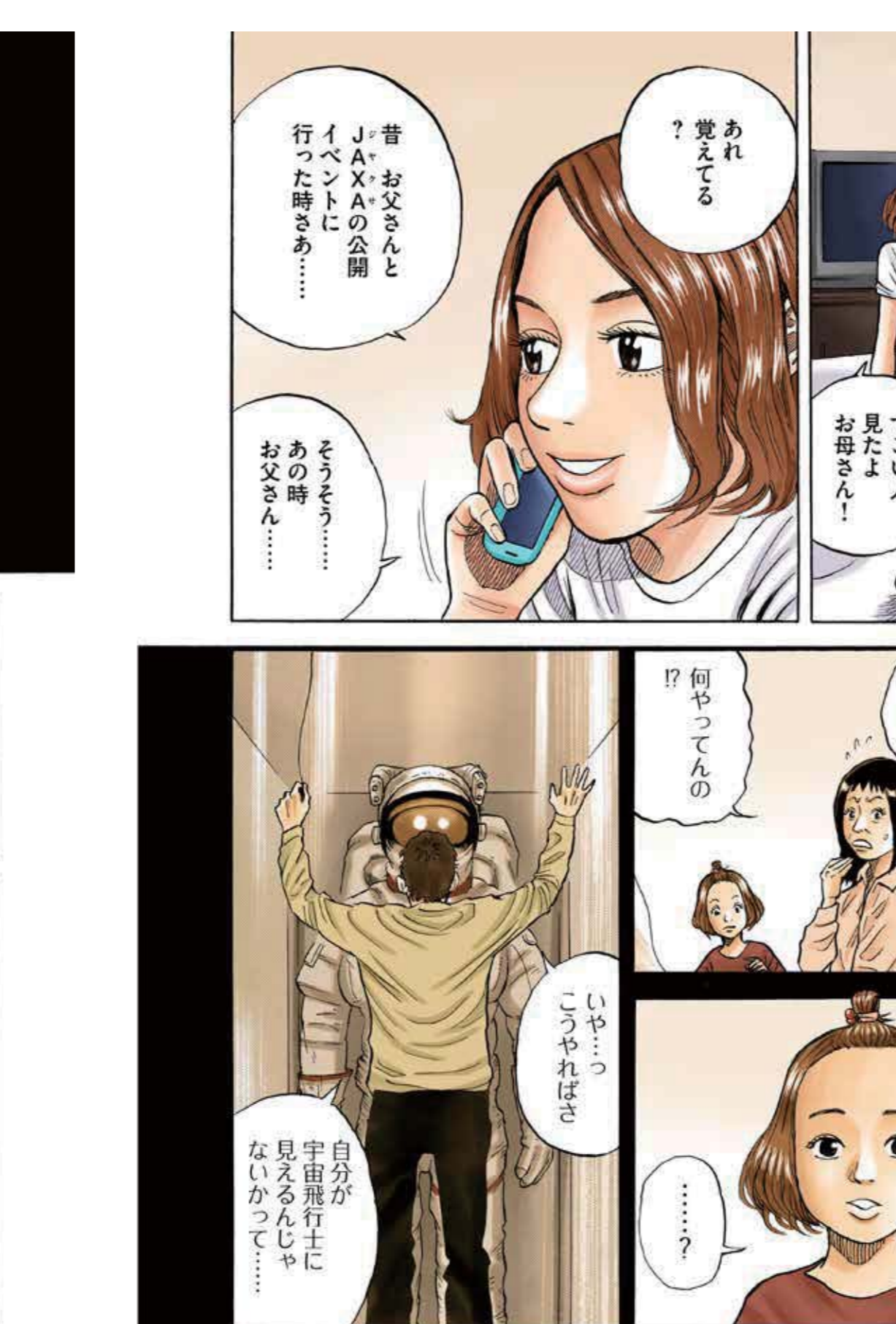
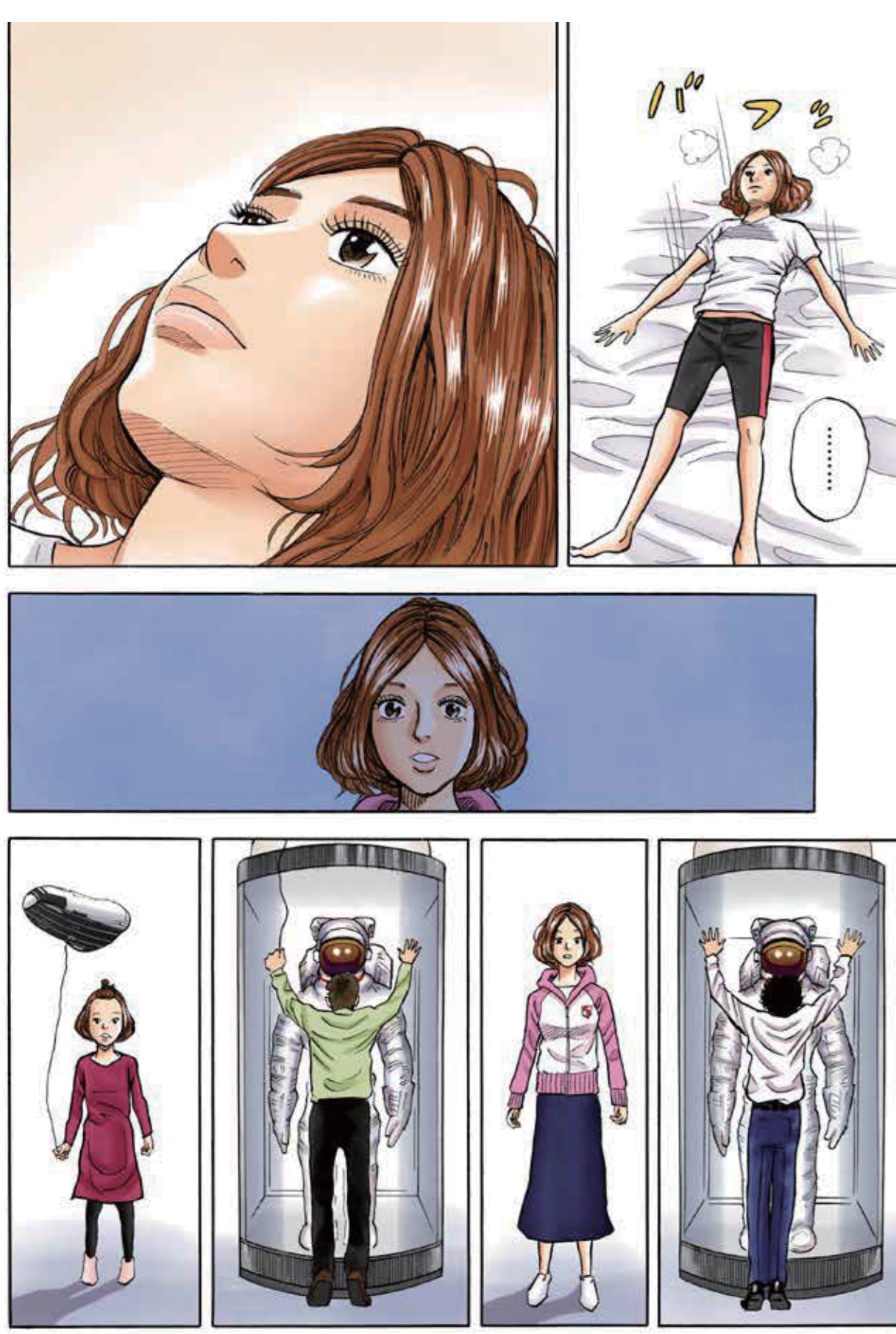
ガラスはあまり触らないでください（清掃担当）



みなさんはご存じだろうか。展示館「スペースドーム」には顔出し宇宙服があることを…お手軽に宇宙飛行士気分が味わえます。

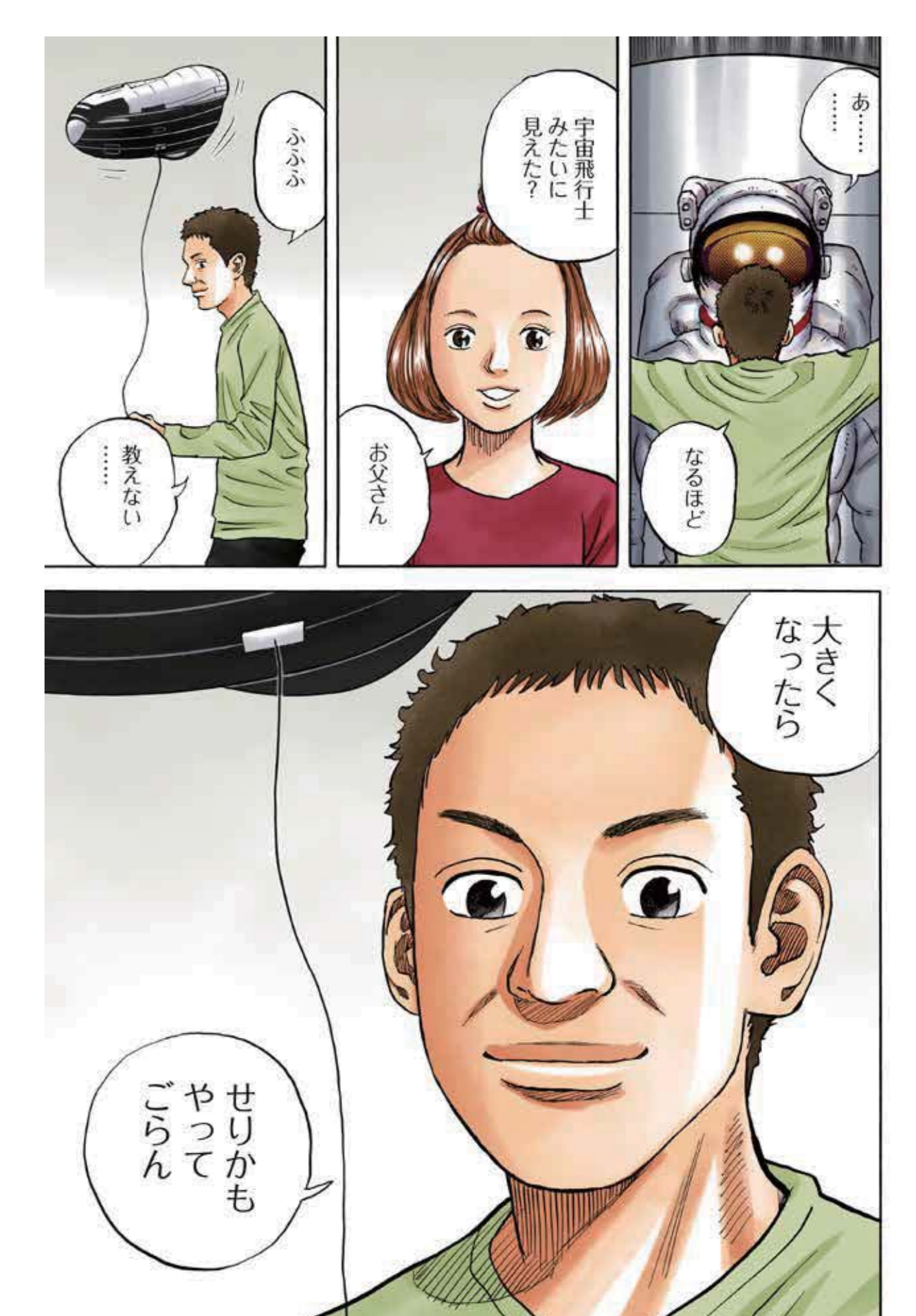
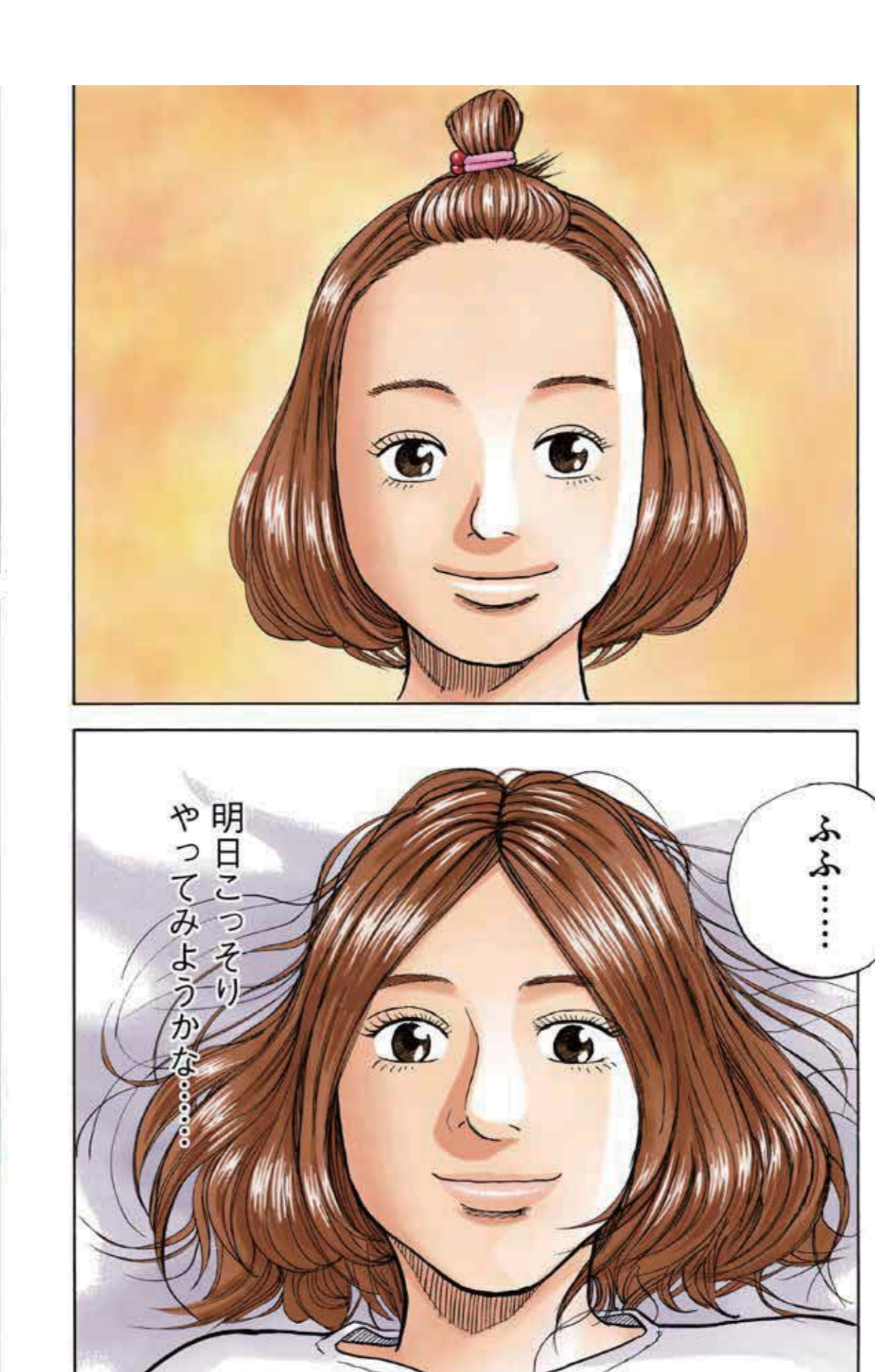
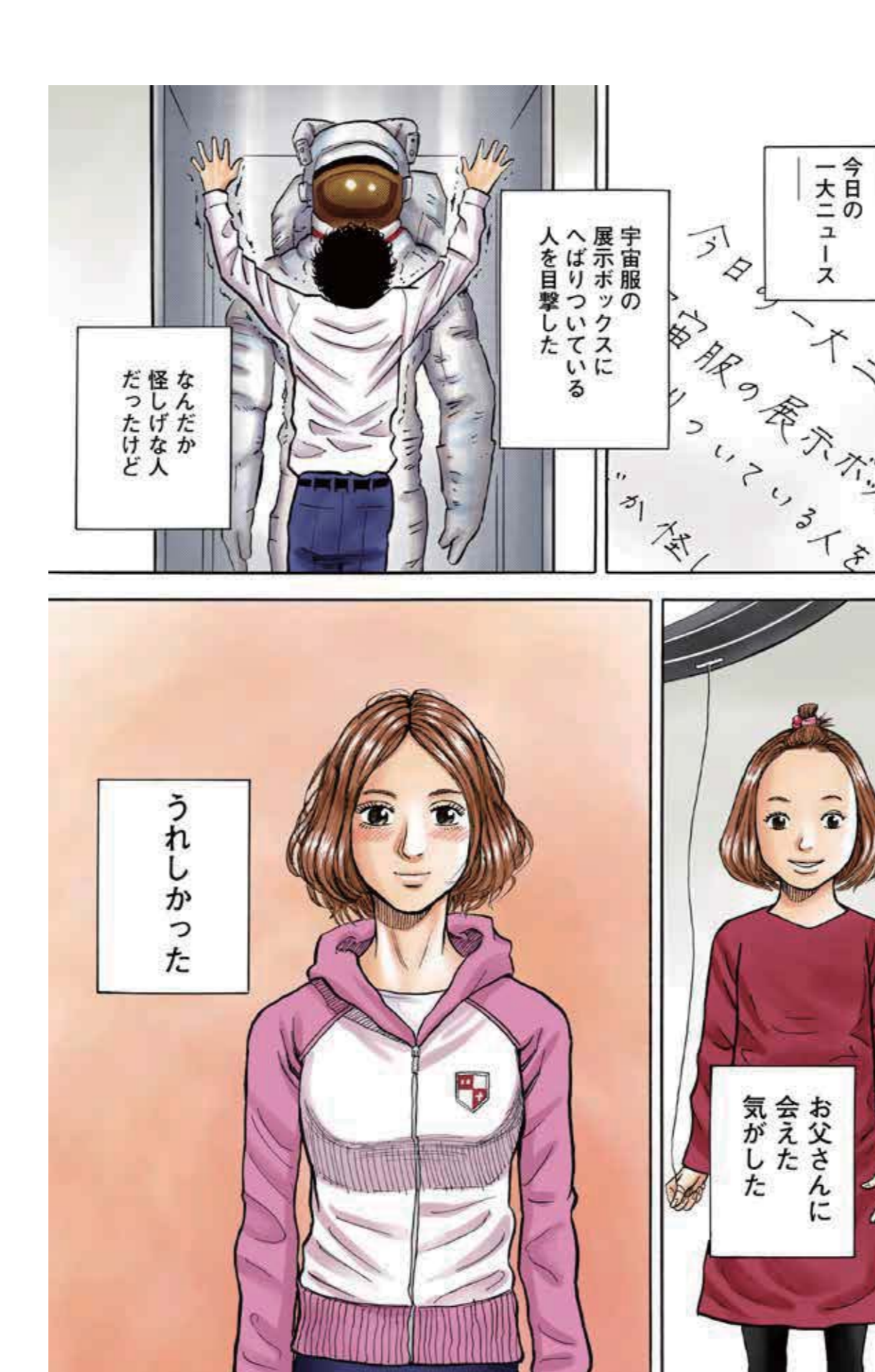


右から左へお読みください



右から左へお読みください

★見学ツアーに参加すると宇宙飛行士養成棟に行くことができます！



『宇宙兄弟』第1巻《#5》せりかの日記 より

右から左へお読みください

宇宙飛行士選抜試験会場（宇宙飛行士養成棟）の廊下に展示されているEMU（船外宇宙服）。六太とせりか、それぞれの思いがEMUを通して描かれています。

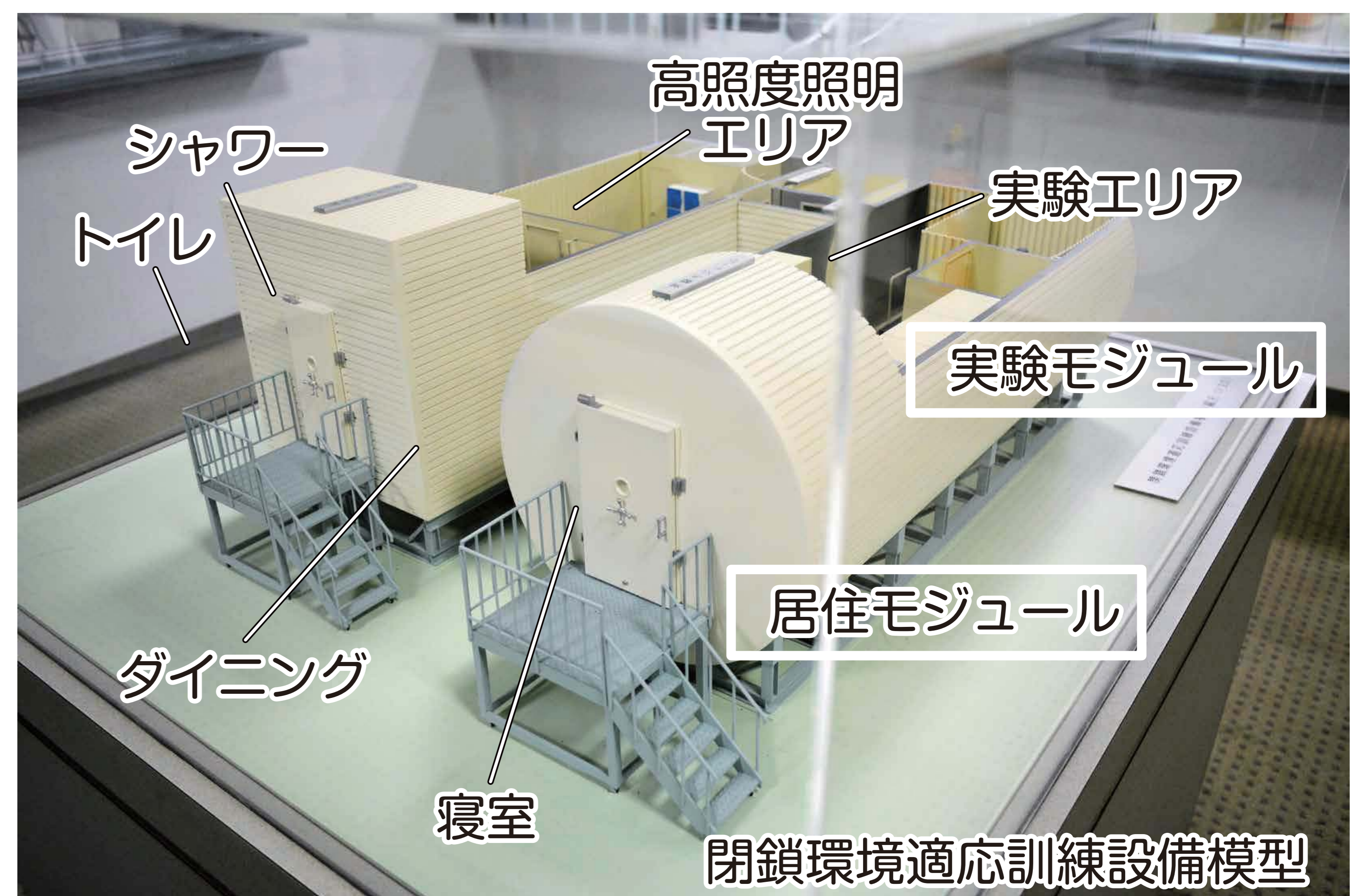


宇宙飛行士養成棟②

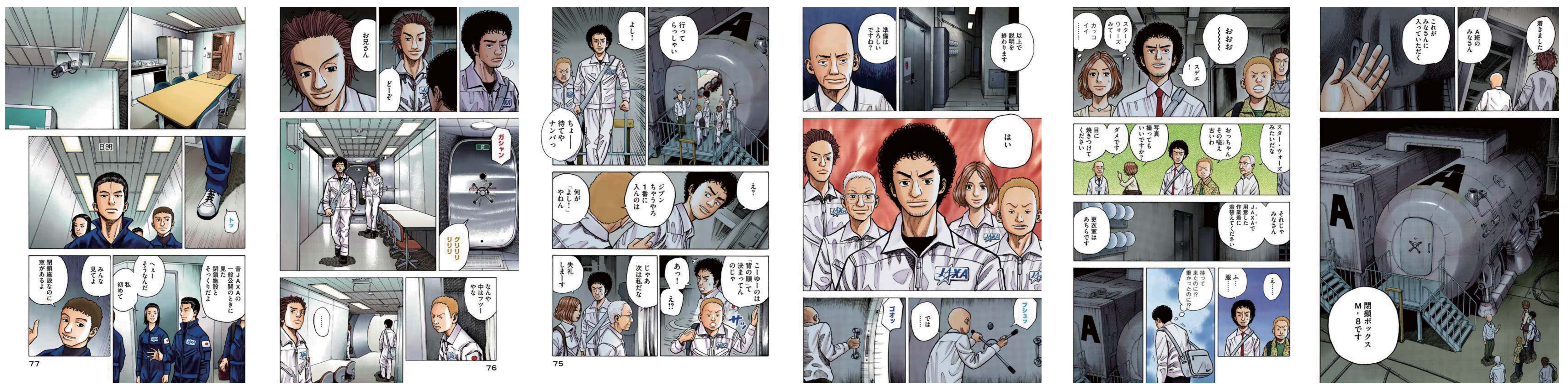
訓練設備の一つである閉鎖環境適応訓練設備はISSの環境を模擬した設備であり、以下のような試験があります。

- ▶ 宇宙飛行士が受ける精神的、心理的なストレスを評価する
- ▶ そのストレス等の対策法の研究・開発を行う

ここでは古川・星出・山崎宇宙飛行士が宇宙に行くための訓練を行いました。また、油井・大西・金井飛行士も最終選抜のとき、この閉鎖環境適応訓練設備に入りました。



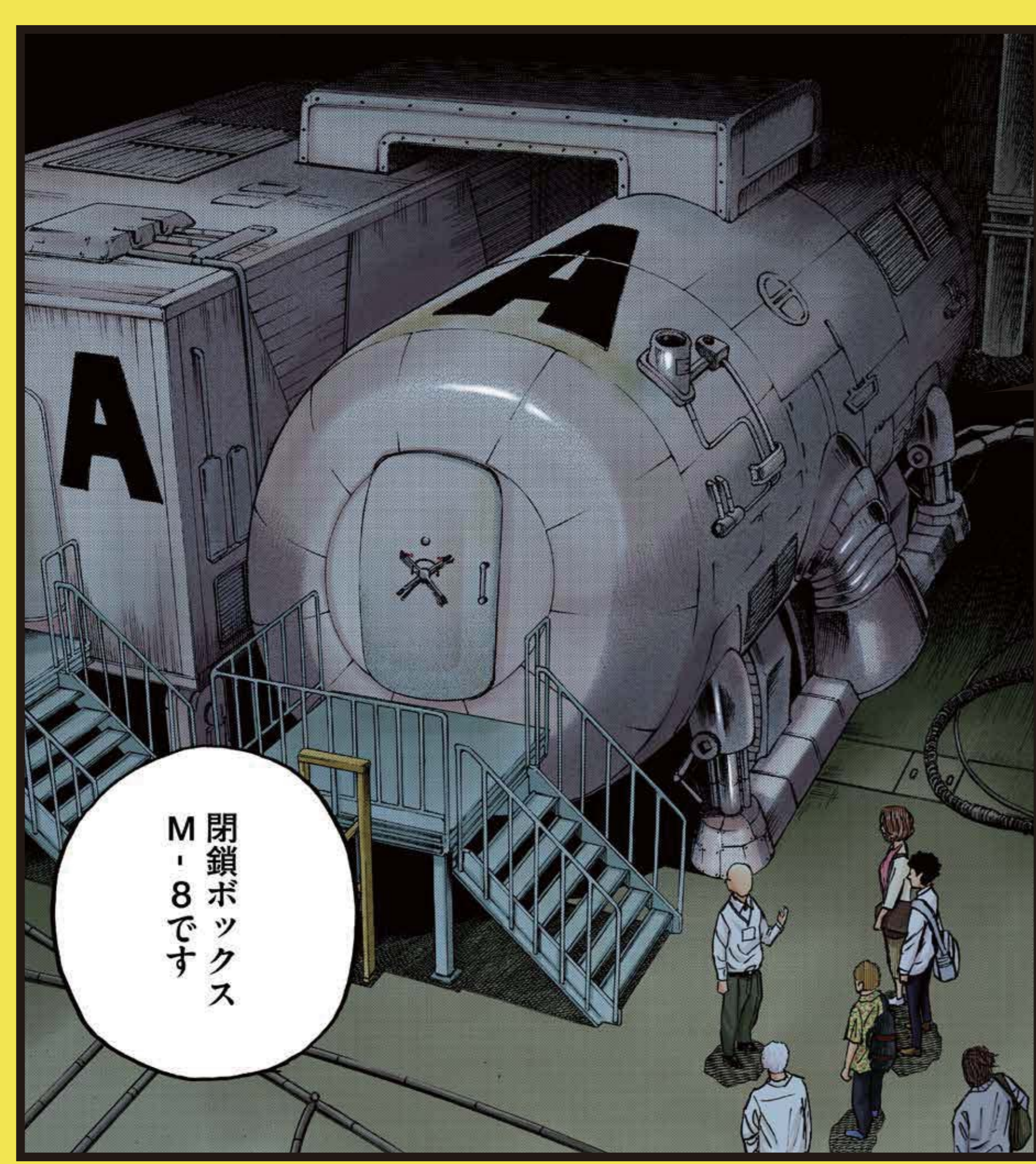
実際の飛行士たちと同様に、六太やせりかななどの被験者たちも、宇宙飛行士選抜試験のためにこの中で共同生活を送りました。また、漫画『宇宙兄弟』を描き始めるために、原作者の小山宙哉さんが初めて訪れたのも、この宇宙飛行士養成棟だったそうです。



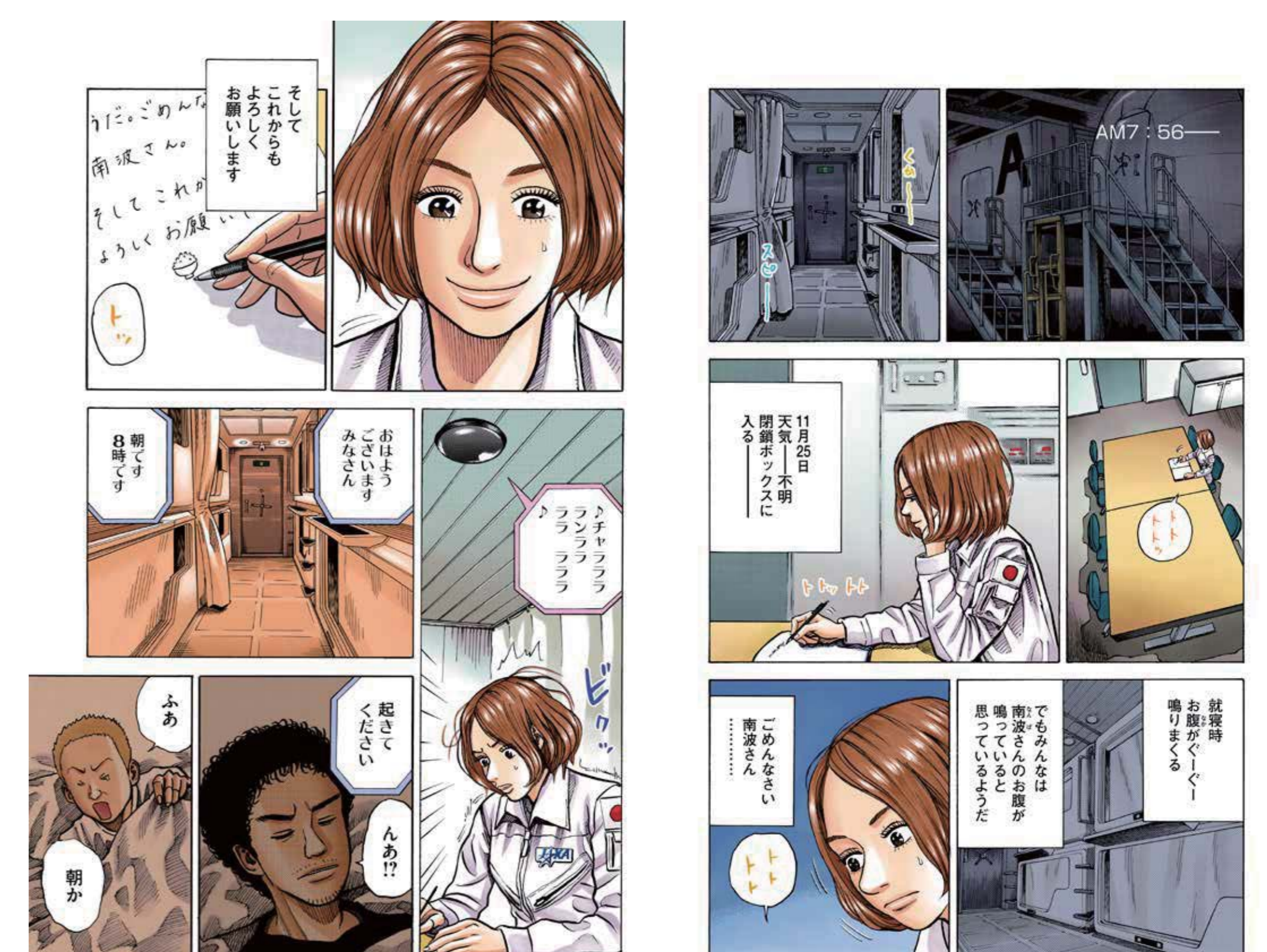
『宇宙兄弟』第3巻《#22》閉鎖ボックス より

右から左へお読みください

★綿密な取材と忠実に描かれた1コマ1コマに刮目せよ!



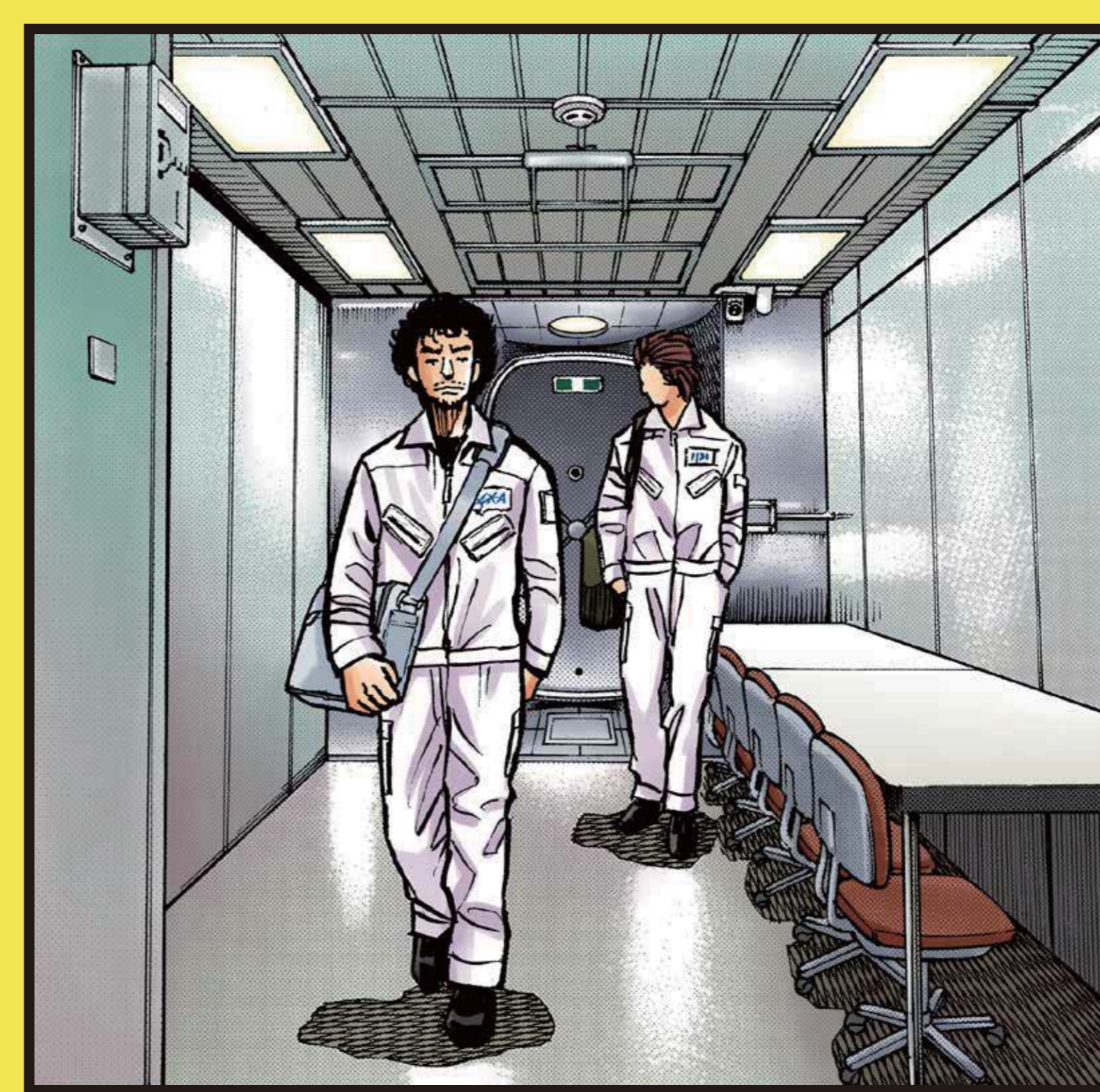
宇宙兄弟の中で描かれているシーンの実際の現場へ行き比較した時、あまりの再現度の高さに驚きと感動で手が震えました!!



右から左へお読みください



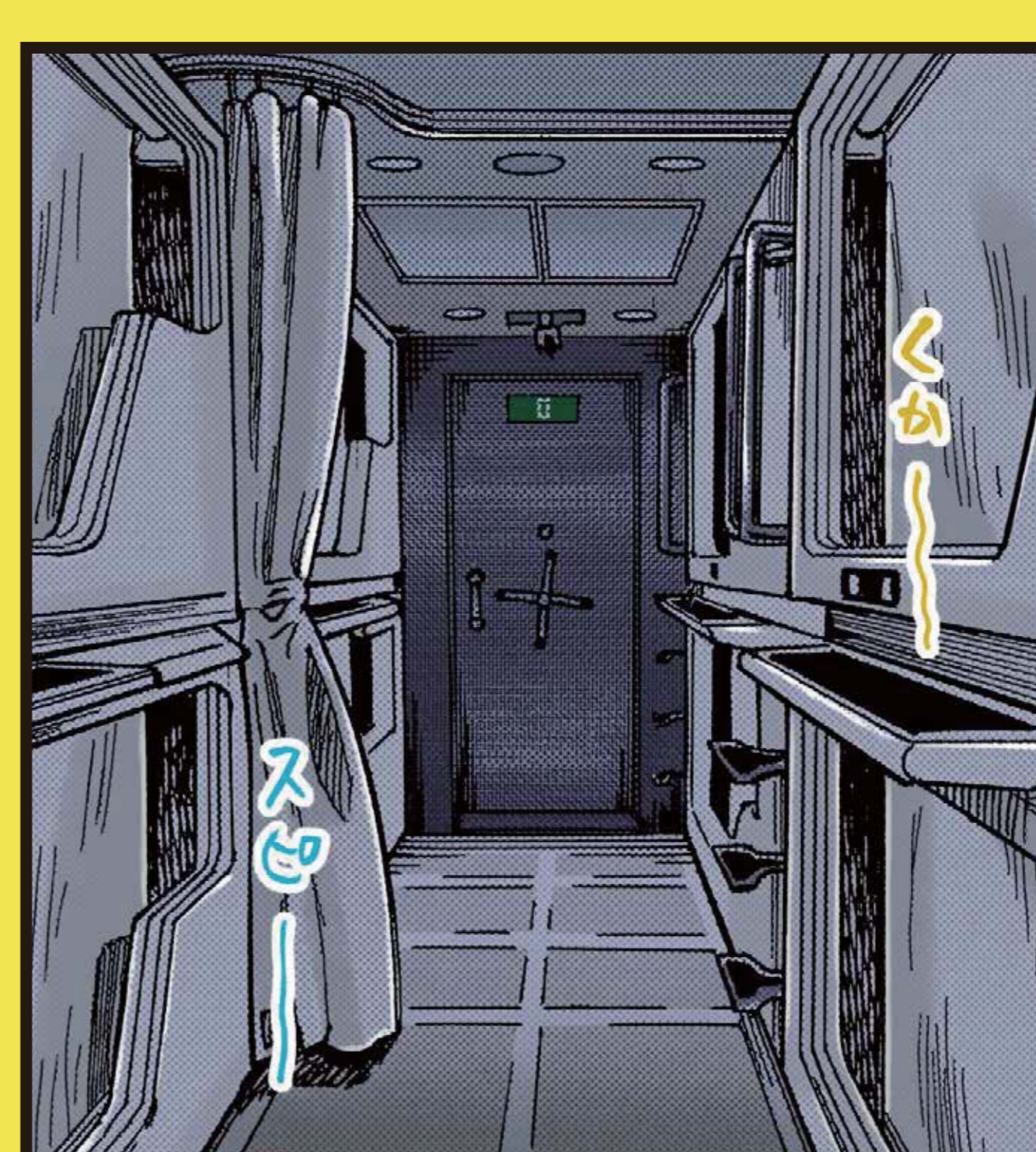
左上の閉鎖環境適応訓練設備のコマのように、全体像が見える場所を探しましたが見つかりませんでした。なのにあの完成度…凄すぎる…ッ!!



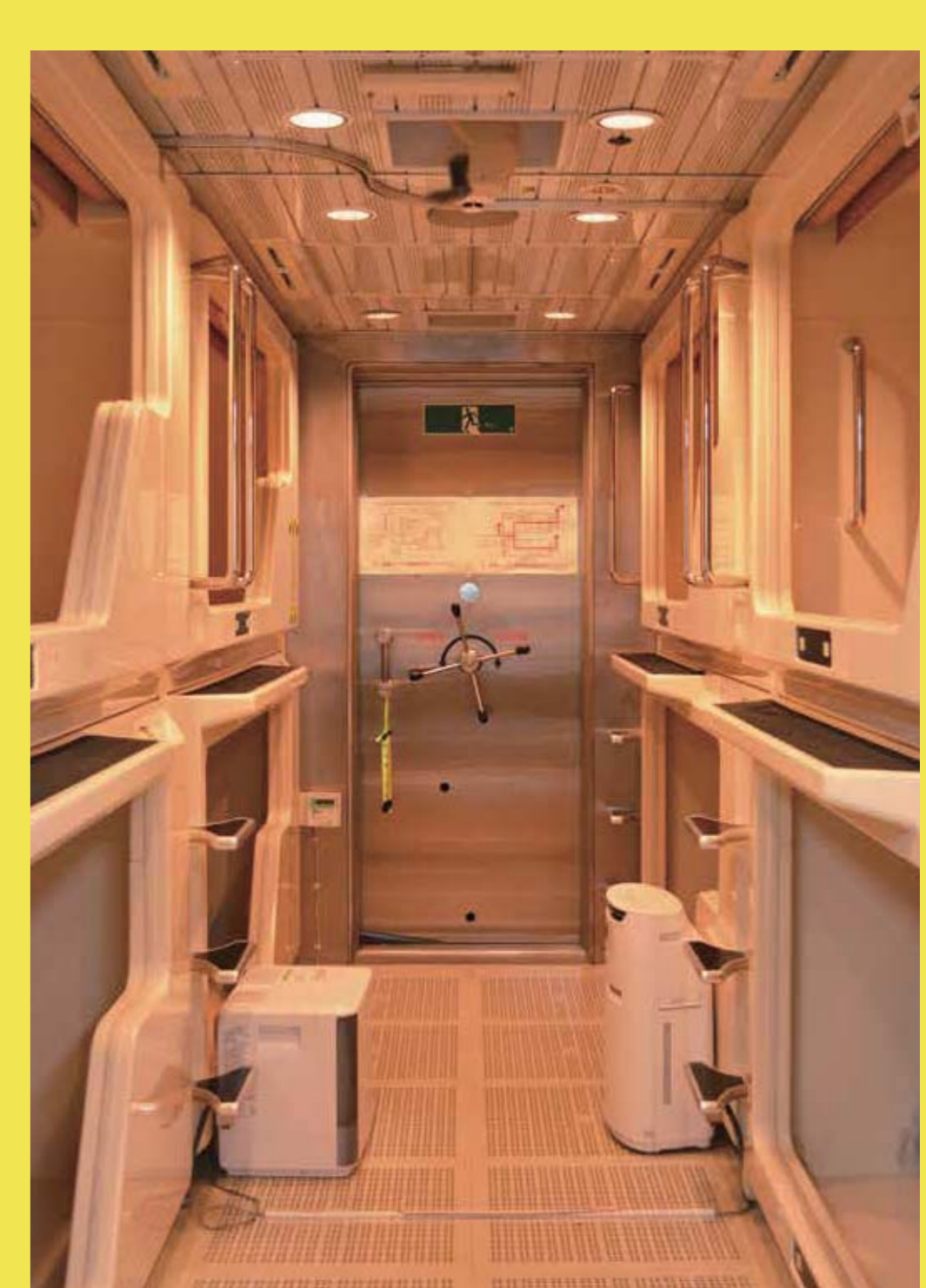
▲奥の扉は女性だと二人がかりでないと閉まらない重さです



▲ここであらゆる試験や作業、話し合いをします (冷蔵庫の色が忠実…)



▲意外と広く快適なパーソナルスペース

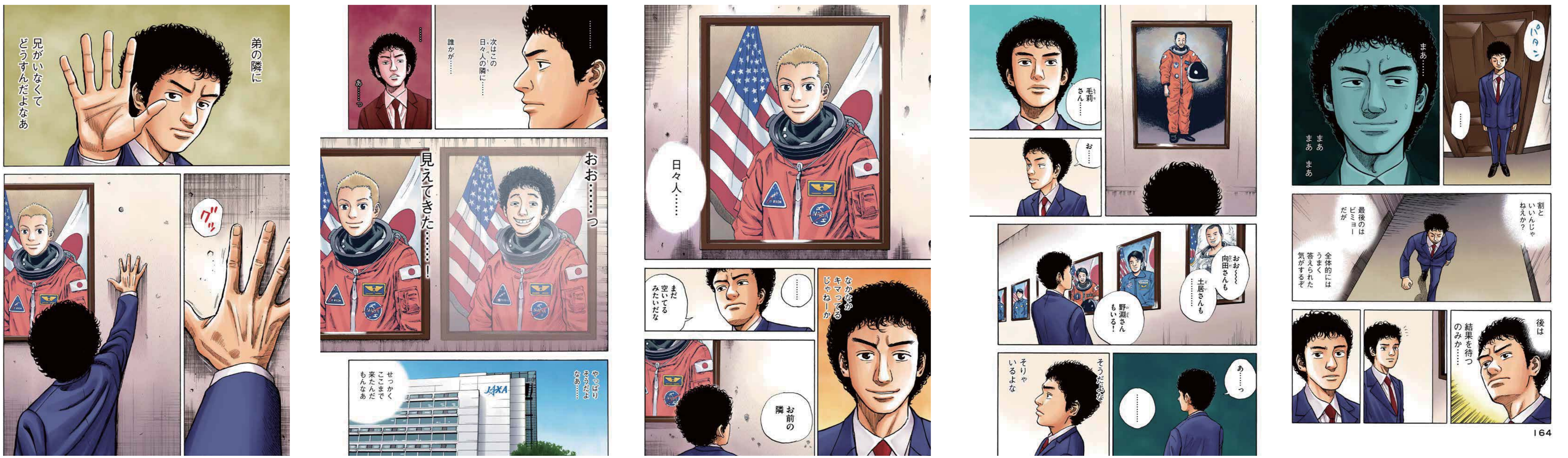


宇宙飛行士養成棟③

現在宇宙飛行士養成棟には、毛利衛宇宙飛行士から、金井宣茂宇宙飛行士（2017年12月ISS長期滞在開始予定）までの、計11名の写真があります。



作中で、六太は日々人を始めとした歴代の飛行士の写真の隣に、自分の写真が飾られる未来を想像します。



『宇宙兄弟』第1巻《#6》日々人の隣 より

右から左へお読みください

壁にかかっている宇宙飛行士たちの写真を見ると、オレンジスーツ・ソコル（ロシアのソユーズロケット搭乗時の服（与圧服）・EMU（船外活動宇宙服）と、着ているものが異なりますが、これにはちゃんと意味があります。

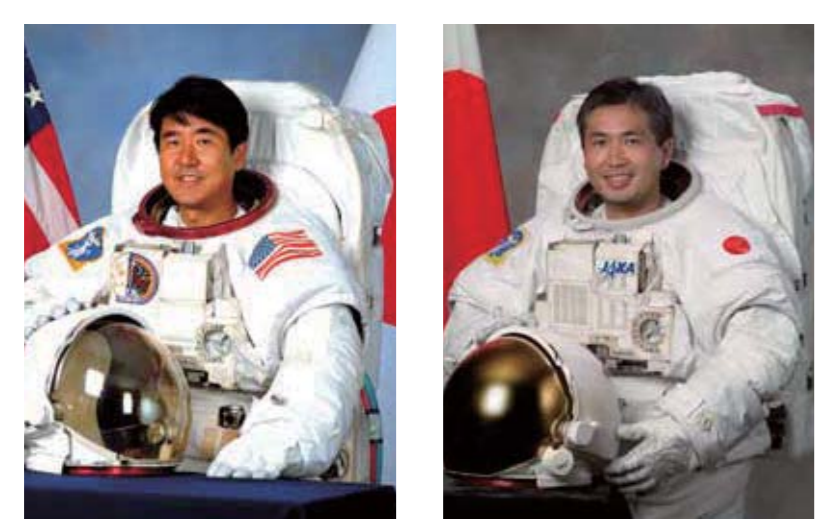


右から左へお読みください



オレンジスーツ着用

スペースシャトル（アメリカの有人宇宙船。2011年に退役。）のミッションに任命された人



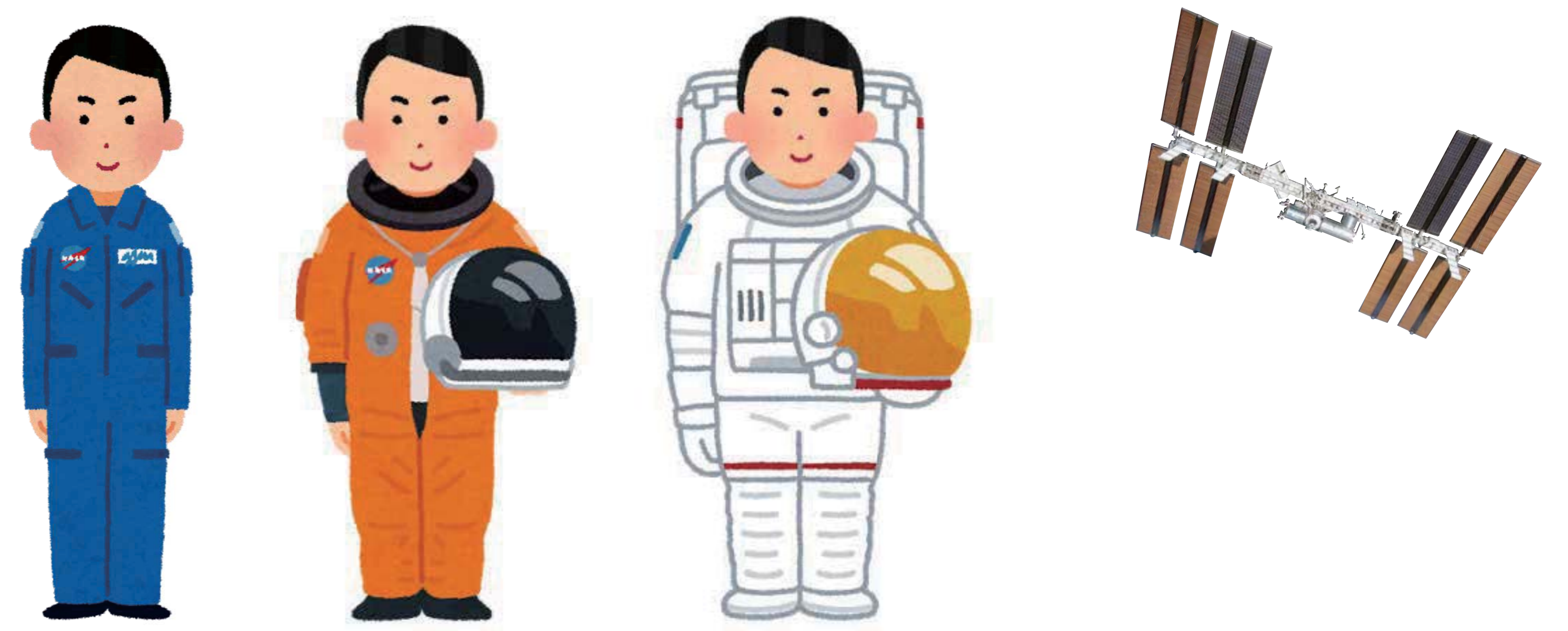
船外活動服

船外活動の認定を受け、且つミッション期間中に船外活動をする可能性がある人



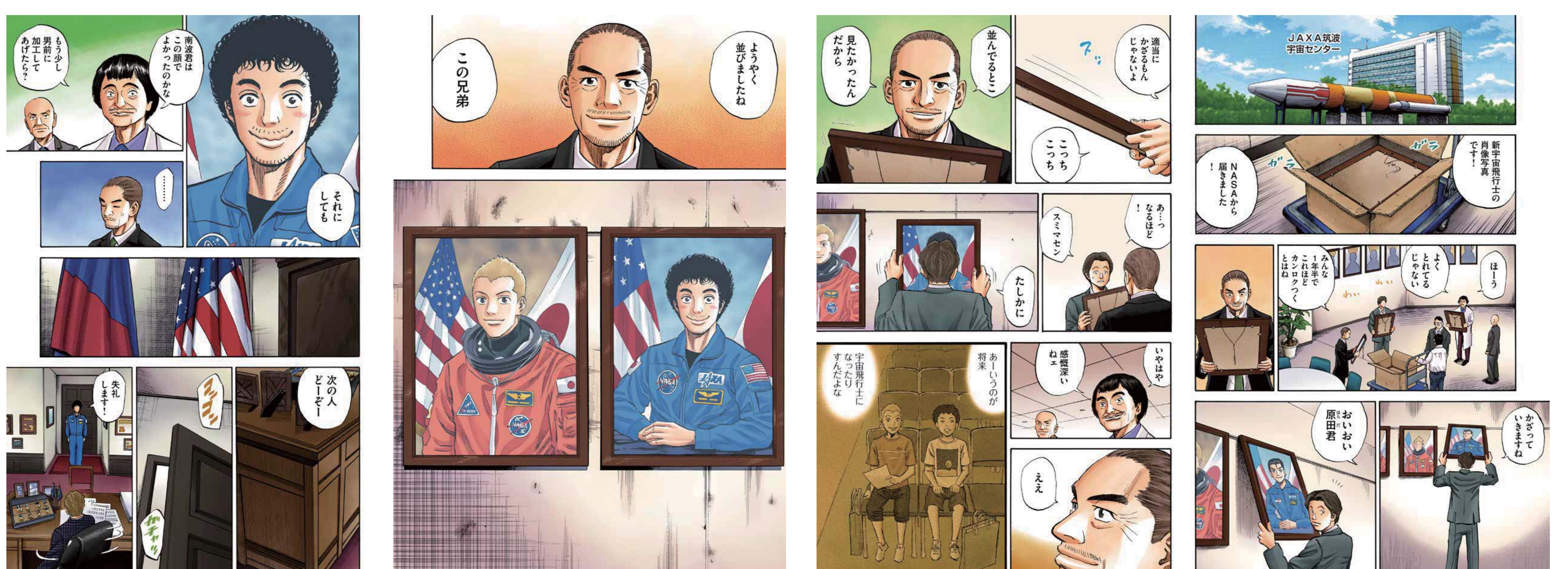
ソコル

ISS長期滞在ミッションに任命され、ソユーズロケットに搭乗する人



幾多の試練を乗り越え、晴れて宇宙飛行士として認定された六太

★「並んでるとこ見たかったんだから」



『宇宙兄弟』第13巻《#129》日々人に並ぶ より

右から左へお読みください



読者全員の声を代弁してくれた星加さん、ありがとう！



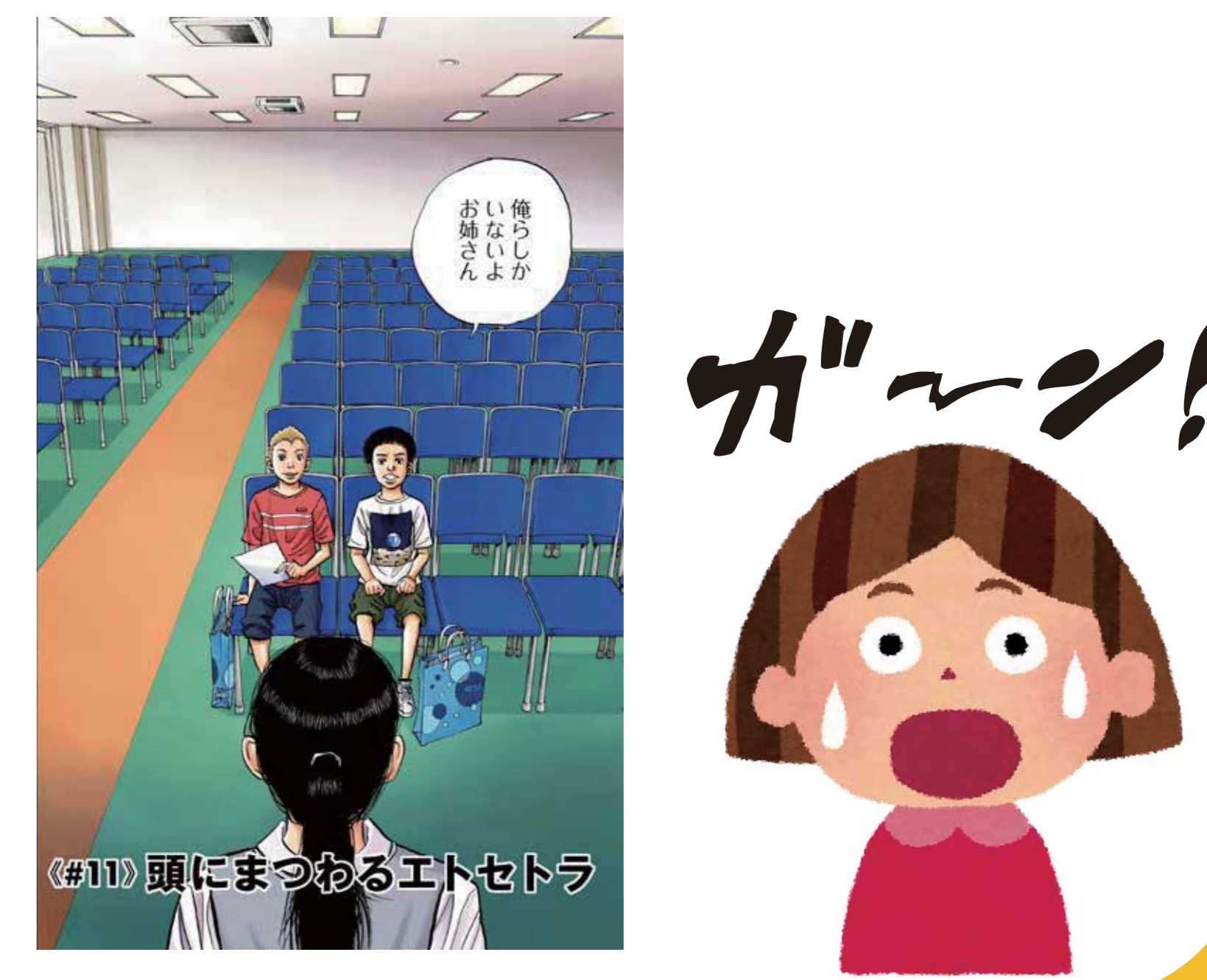
宇宙兄弟 作者の

小山宙哉先生コメント

Q 実際につくば宇宙センターで参考にしたのはどこですか？

入り口のロケットも、閉鎖環境も、宇宙服のゲージのあるところとか、いろいろ取材させていただきました。

JAXAの紹介をガイドの方がやるシーンがあって、子供時代の日々人と六太が説明を聞いていて、後ろを振り返って「俺らしいくないよ」って言うシーンがあるんですが、取材の時も全く同じ状況で、その時も参加者が僕と担当編集者しかいなかったんです。でも「みなさま!」みたいな感じでガイドがはじまるから、それが面白かったんでああいうシーンになったのを覚えています。



ほんとに「俺らしいくないよ!」状態だった...



若田光一宇宙飛行士に展示館「スペースドーム」にある「きぼう」日本実験棟実物大モデルの中で説明を受ける小山宙哉先生

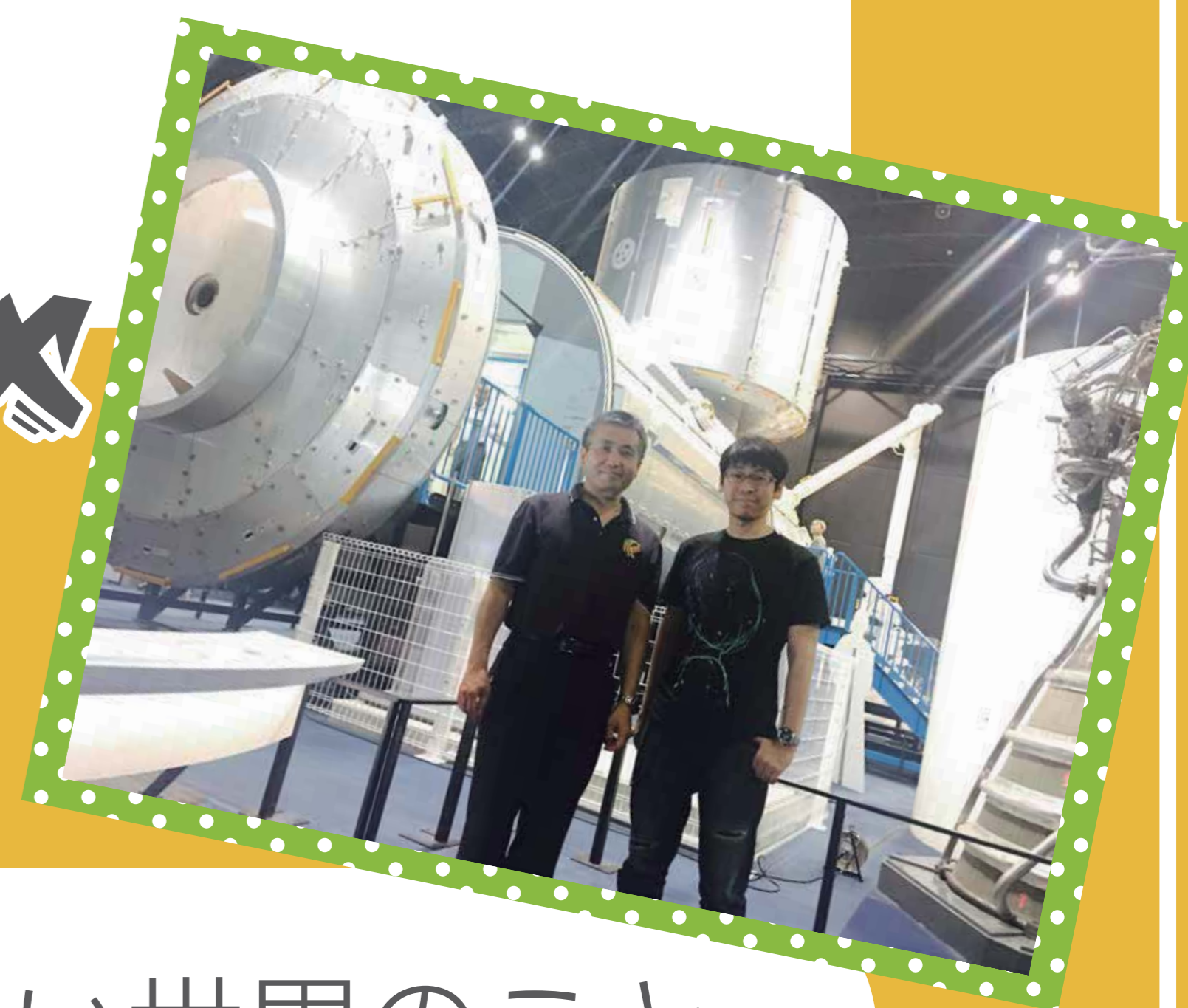
Q 初めて行ったときの感想

はじめて取材に行った時のことをいま思い出すと、やっぱり感慨深いですね。見学に行ったことによって、いろんなシーンが浮かんできて、物語が作られていきました。そうやって生まれた作品がまたJAXAに帰っていくというのはうれしいですね。



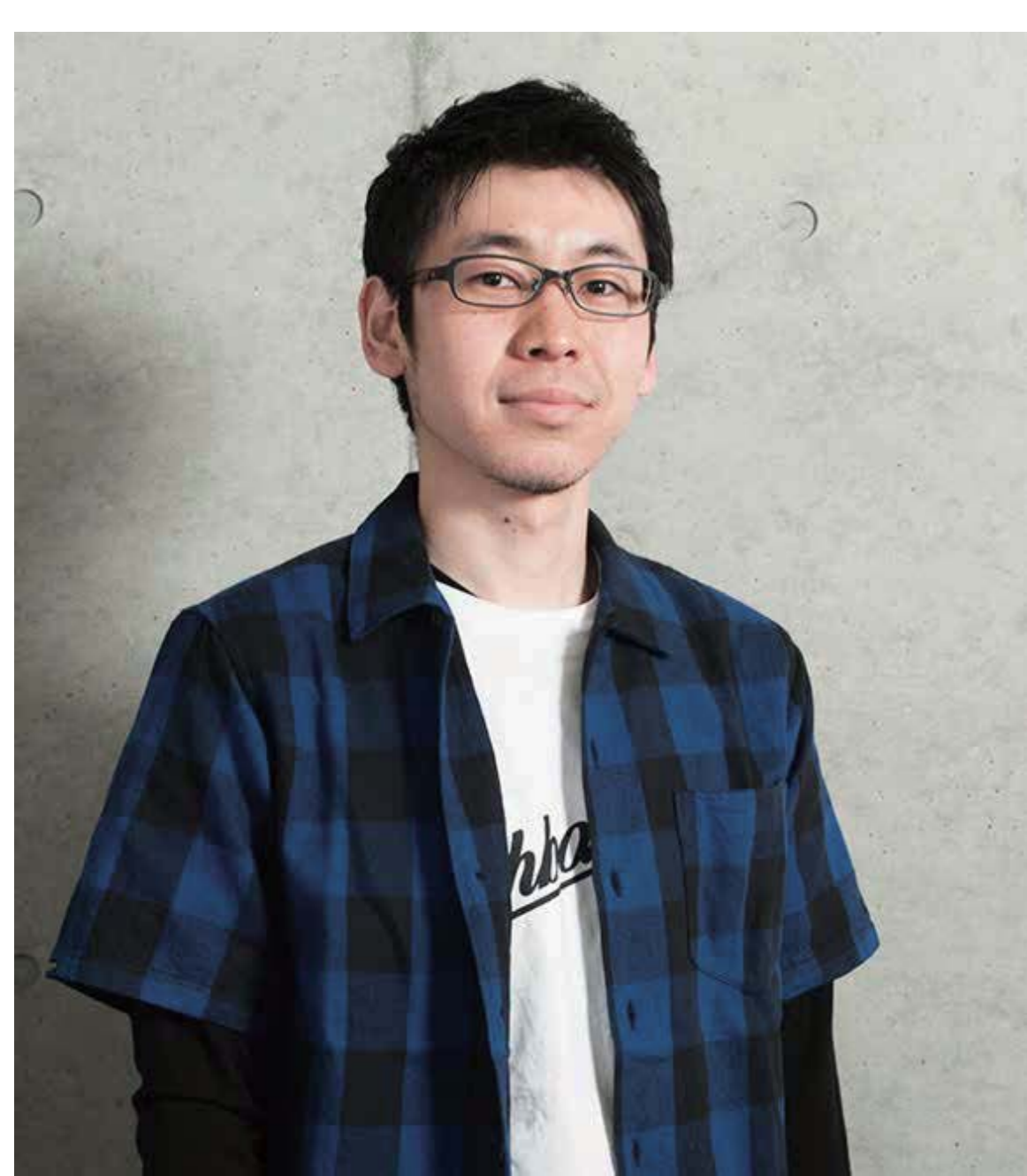
なるほど~

パニヤ



Q メッセージ

「宇宙漫画を描く」となったとき考えていたのは、漫画だと難しい世界のことをよりわかりやすく伝えることができ、多くの人に伝わるということです。僕自身が宇宙開発のことで感心し、面白いと思ったことを漫画で説明していったのが、『宇宙兄弟』という漫画です。そうして描いてきた作品が、JAXAの中で解説に使っていただけるということは、僕が理想としていた「わかりやすく人に伝える」という思いが実現できているということなので、このように宇宙兄弟が使ってもらえるというのはすごいありがたいです。



小山 宙哉

1978年9月30日生まれ。京都府出身。
2006年にデビューし、『ハルジャン』『ジジイ-GGG-』を経て、2007年に「モーニング」にて『宇宙兄弟』の連載を開始。
連載作品3作目となる『宇宙兄弟』は、第56回小学館漫画賞一般向け部門、第35回講談社漫画賞一般部門をそれぞれ受賞し、2012年には実写映画化もされた。

宇宙兄弟 作者紹介

宇宙兄弟 掲示板

宇宙兄弟 Official Web



宇宙兄弟公式サイト
<https://koyamachuya.com/>



Twitter アカウント
@uchu_kyodai



小山宙哉ファンクラブ
「コヤチュー部 (KoyaTube)」
<https://koyamachuya.com/mailmagazine/>

